

科目名称		科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
児童学を学ぶ	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科		1	2	児童学の基礎と基本について学び、全体像を把握する導入科目である。オムニバス方式により、各教員の研究内容に出会う、あるいは専門領域を知る・学ぶことを通して、乳幼児から学童期までの保育・教育・福祉を幅広い視野で捉え、児童学の専門的な学びにつなげていく。この科目での学びにより、学修を始める関心と意欲の向上をめざす。	1. 免許・資格・関連法規について正しく理解し、主要法規については基礎的な解説が行える（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2. 事例を読んでも妥当な解釈をし、それが説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3. 事例に対して自らの問いをたてて、考察を展開し、さらに記述によって文章表現できる（客観性・自律性【主体的判断力】）。また、保育上の課題を発見し、自らの視点で筋道をたてて課題の本質を考究し、解決に向けた保育の道筋を見出すことができる（DP2課題発見・解決力）。保育職に就くことの意味および求められる資質能力を理解し、自らの保育観を自覚することができる（DP3リーダーシップ）。	1. 免許・資格・関連法規について理解し、それが説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2. 事例を読んでも内容を理解し説明することができる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3. 事例に対して所定の視点で考察できる（客観性・自律性【主体的判断力】）。保育上の課題を発見し解決の方途を見出す（DP2課題発見・解決力）。保育職の意義と必要な資質能力を理解し、保育観を自覚する（DP3リーダーシップ）。
					本授業のねらいは、4年間を通して学ぶ児童学の基礎を理解することにある。家庭、地域、社会などにおいて身近に取り上げられている子どもに関連するさまざまな事象や課題に触れ、子どもをとりまく人的・物的環境やその相互関係に気づくとともに、発達・文化・教育・福祉などの視点から、子どもの生活や遊びへの関心を高める。また、子どもにかかわる専門的実践者の基礎づくりとして、幼稚園や子育てひろばなどの施設見学、テーマ別の発表、討論、グループワークなどの演習を通して自主的・主体的な学びの姿勢を養う。	1.児童文化の定義、特色、意義について理解し、説明できるようになる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.さまざまな児童文化財に親しむ経験をし、子どもの育ちを支える児童文化財の活用方法や文化的環境のあり方についての視点をもつようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3.保育における児童文化の役割を総合的に自覚し、使命感と責任感をもって適切な行動ができる。（DP3リーダーシップ）	1.児童文化の定義、特色、意義について理解には乏しいが、説明ができない。（客観性・自律性・専門知識【幅広い教育】【専門知識】） 2.さまざまな児童文化財に親しむ経験をし、子どもの育ちを支える児童文化財の活用方法を考え実践できるようにする。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3.保育における児童文化の役割を理解し、使命感と責任感をもって適切な行動ができる。（DP3リーダーシップ）
児童学基礎演習	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科		1	2			
教育原理	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科		1	2	価値観の多様化にともない、現代社会はどのような教育が求められているのかが不透明な時代である。そして教育や学校がどのような目的を持ち、機能しているのか、その全体像を見通すことは非常に困難な状況でもある。すなわち、“教育”するとはどういう行為なのか、“学校”とはどのような役割を持つ存在なのか、という問いには、容易に解答を見出し得ない難解さが含まれている。また教育という分野は、自身の経験をもとに誰でも容易に（あるいは安易に）語るができるある種の危うさを持っている。それゆえ、教育に関する原理的な考察が不可欠であり、認識を共有する土台を築くことが求められる。そこで本授業では、教育の理念や歴史など、共通認識の基盤となる基礎的な知識を習得すると同時に、新しい時代状況に対応しうる教育を自律的に思考する力を養う。	1.学習指導要領の目標、内容、構造について、教科書教材や指導事例と結んで理解し、系統をふまえて説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校教諭として必要となる国語学力を向上させるため、「話す・聞く、書く、読む」活動に主体的に取り組み、成果を発表することができる。（DP2課題発見・解決力） 3.国語科授業における多様な言語活動を実際に行うことによって児童の学びを体験し、今日求められている国語学力について考察を深めることができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）	1.学習指導要領の目標、内容、構造について、概要を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校教諭として必要となる国語学力を向上させるため、「話す・聞く、書く、読む」活動を行い、成果を発表することができる。（DP2課題発見・解決力） 3.国語科授業における多様な言語活動を実際に行うことによって児童の学びを体験し、今日求められている国語学力について概略を考察することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）
教育心理学	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科		1	2	教育心理学には、子どもの学びを支えることと発達を支えるという2つの役割がある。本科目では、子どもの発達、学習メカニズム、動機づけ、教育評価などの教育にかかわる心理学理論や実践方法について学習する。基本的な概念の習得とともに、具体的な子ども理解の方法、教育方法なども学ぶ。また、近年、特別支援教育とともに学習のつまずきへの支援のあり方についても習得する。	1.小学校社会科の目標及び特質、各学年の指導内容について、学習指導要領の趣旨や系統性を踏まえて理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校社会科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントについて具体的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校社会科教育の教科特性及び内容構成を踏まえ、課題解決的な学習の指導方法や子どもの発達、単元の学習に適した教材作成、資料活用について考え、効果的な指導方法が理解できる。（DP2課題発見・解決力）	1.小学校社会科の目標及び特質、各学年の指導内容を理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校社会科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方について具体的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校社会科教育の教科特性及び内容構成を踏まえ、課題解決的な学習の指導方法や単元の学習に適した資料活用について考え、効果的な指導方法が理解できる。（DP2課題発見・解決力）
発達心理学	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科		1	2	乳幼児および児童・生徒の発達について、身体・運動、言語・認知、情緒・社会性など各領域の特徴と相互の関連性についての基本的な知識を学ぶ。その際、ピアジェ、ヴィゴツキー、ボウルビー、田中眞人などの代表的な発達理論を基に、発達を捉える内面的、外的要因およびその相互作用などの観点について理解する。また、子どもの健全な発達を保障するうえで必要なかかわりや援助のあり方を学ぶ。	1.小学校算数科の目標及び特質、各学年の指導内容について、学習指導要領の趣旨や系統性を踏まえて理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校算数科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントについて具体的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校算数科教育の教科特性及び内容構成を踏まえ、課題解決的な学習の指導方法や子どもの発達、単元の学習に適した教材作成、教材選択について考え、効果的な指導方法が理解できる。（DP2課題発見・解決力）	1.小学校算数科の目標及び特質、各学年の指導内容を理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校算数科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方について具体的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校算数科教育の教科特性及び内容構成を踏まえ、課題解決的な学習の指導方法や単元の学習に適した教材選択について考え、活用指法が理解できる。（DP2課題発見・解決力）
保育原理	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科		1	2	保育・幼児教育とは、「育つ、育てる、育ち合う」営みである。「育つ子ども」と「育てる大人」が出会って、「共に育ち合う」活動を創っていくことである。授業では、保育・幼児教育の意義について理解し、子どもの発達に応じた保育者のかかわり、保育所・幼稚園・認定こども園における多様な保育ニーズについて理解することを目的とする。具体的には、保育・幼児教育の歴史から得られる保育・幼児教育の課題、乳幼児期の子どもの取り巻く環境の重要性、乳幼児期の心身の発達のプロセス、家庭、地域との連携の重要性、現在の保育制度と保育・幼児教育を取り巻く今日的課題について学ぶ。	1.小学校理科の目標及び特質、各学年の指導内容について、学習指導要領の趣旨や系統性を踏まえて理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校理科における博物館等の社会教育施設の効果的な活用方法が理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3.小学校理科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントについて具体的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.小学校理科教育の教科特性及び内容構成を踏まえ、問題解決的な学習の指導方法や単元の学習に適した教材作成、教材選択について考え、効果的な課題追究の在り方が理解できる。（DP2課題発見・解決力）	1.小学校理科の目標及び特質、各学年の指導内容を理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校理科における博物館等の社会教育施設の活用方法が理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3.小学校理科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方について説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.小学校理科教育の内容構成を踏まえ、問題解決的な学習の指導方法や教材選択について考え、課題追究の在り方が理解できる。（DP2課題発見・解決力）
音楽基礎	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科		1	2	子どもの表現を育くために必要となる、音楽の知識や技術を身につける。音楽基礎では、小学校教諭として子どもと音楽を共有する際に必要となる、美音的な知識と演奏技術を中心に学ぶ。この授業ではレッスンとクラス授業を受ける。ピアノ・歌唱の実技は少人数のグループで、学生一人ひとりのレベルに合わせてレッスンを受ける。クラス授業では、学生自身が実際に動いたり、音を出したりする活動を中心に行い、音楽理論の理解を深める。	1.小学校生活科の目標及び特質、各学年の指導内容について、学習指導要領の趣旨を踏まえて理解し、具体的な例を挙げたり、適切な資料を活用したりして説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校生活科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントについて具体的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校生活科における子どもの発達に応じた効果的な地域素材の選び方や活用方法が理解できる。（DP2課題発見・解決力）	1.小学校生活科の目標及び特質、各学年の指導内容について、学習指導要領の趣旨を踏まえて理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校生活科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントについて説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校生活科における子どもの発達に応じた地域素材の選び方や活用方法が理解できる。（DP2課題発見・解決力）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
造形基礎	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	1	2	教育現場の指導者として造形作品の制作技法はもちろん、その素材や用具などにも精通した上で自ら発案し改良を加え、より楽しい造形を積極的に提案することが必要になってくる。そうした幅広い認識を持ちながら、まず「造形基礎」では主に「紙」による様々な造形表現と取り組む。紙を使った立体造形から紙版画まで、基本的な表現技法に各自が創意工夫を加えながらの制作実習を行う。また、近隣の美術館等の作品鑑賞から、取材考察したレポートを作成し発表する。	1.学校教育における家庭科教育の意義や目的、その歴史の変遷について客観的・総合的に理解し、家庭科教育担当者として他者にその果たすべき役割を説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校家庭科の目標とその内容を構成する家族・家庭生活、食生活、衣生活、住生活、消費生活と環境の基礎的な理論及び教育方法を主体的に思考し身につけている。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.現代社会における家庭科教育の現状と課題解決に向けた具体的な授業構成、環境、教材、教具の工夫をすることができ、児童の状況に添った支援・指導を創造することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.上記の事例について他者と協働しながら、自己の課題を向上させる創造的・実践的な思考と態度を身につけている。（DP3リーダーシップ）	1.学校教育における家庭科教育の意義や目的、その歴史の変遷について客観的・総合的に理解している。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校家庭科の目標とその内容を構成する家族・家庭生活、食生活、衣生活、住生活、消費生活と環境の基礎的な理論及び教育方法を考えている。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.現代社会における家庭科教育の現状と課題解決に向けた授業構成、環境、教材、教具について工夫をすることができ。（DP2課題発見・解決力） 4.上記の事例に関する他者との協働作業に参加している。（DP3リーダーシップ）
体育基礎A	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	1	1	乳幼児期の発育・発達の基本知識をふまえて、運動発達プロセス、運動を促す環境の意味を理解できる。乳幼児期における運動あそびの実践に関する知識を身につけ、乳幼児の運動指導における基礎的な技能について、実技や実践を通して学ぶ。	1.小学校における外国語教育の理念や意義、特質を理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校における外国語教育の指導上の課題、カリキュラム、教材についての基礎的な概念を身につけ、これからの指導の在り方について具体的に説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校における外国語教育活動の具体的な立案、効果的な実施方法について考え、実践を通してより学習活動の在り方を理解できる。（DP2課題発見・解決力） 4.ALＴとチームティーチングを行うために、コミュニケーションスキルの向上に意図的に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力）	1.小学校における外国語教育の意義を理解し説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校における外国語教育の指導上の課題、カリキュラム、教材についての基礎的な概念を身につけ、これからの指導の在り方について説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校における外国語教育活動の立案、実施方法について考え、実践を通して学習活動の在り方を理解できる。（DP2課題発見・解決力） 4.ALＴとチームティーチングを行うために、コミュニケーションスキルの向上に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力）
体育基礎B	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	1	1	幼児期・児童期の発育・発達の基本知識をふまえて、運動発達プロセス、運動を促す環境の意味を理解できる。、幼児期から児童期への過渡を意識した運動あそびの実践に関する知識を身につけ、幼児・児童の運動指導における基礎的な技能や指導法について、実技や実践を通して学ぶ。	1.小学校国語科学習指導要領に示された国語科の目標や内容、全体構造を理解する。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校国語科の内容を構成する、知識や技能（言葉の特徴や使い方、語や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化）、思考力、判断力、表現力等（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の指導のあり方、指導上の留意点について考察することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校国語科の学習評価や具体的な評価方法について検討することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.国語教育学、国文学、古典文学等との関わりをふまえ、国語教科書教材を分析し、説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 5.児童の発達段階や実態をふまえて、教材研究、指導計画の立案、学習指導案作成ができる。（DP2課題発見・解決力） 6.グループ内でイニシアチブをとって模擬授業を実施することができる。（DP3リーダーシップ） 7.実施した模擬授業について省察し、学習指導の改善の方策について検討することができる。（DP2課題発見・解決力）	1.小学校国語科学習指導要領に示された国語科の目標や内容の概略を理解する。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校国語科の内容を構成する、知識や技能（言葉の特徴や使い方、語や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化）、思考力、判断力、表現力等（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の指導について概要を考察することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校国語科の学習評価や評価方法の概要について検討することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 5.教材研究、指導計画の立案、学習指導案作成ができる。（DP2課題発見・解決力） 6.グループで模擬授業を実施することができる。（DP3リーダーシップ） 7.実施した模擬授業について省察することができ。（DP2課題発見・解決力）
子どもと健康	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	1	2	領域「健康」の指導で必要となる感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身につける。身体諸機能の発達や、遊びのなかでの身体の育ちなどを理解し、乳幼児期の健康について科学的根拠に基づく知識を得ることで、乳幼児やその保護者に対して必要な援助を行うことができるようになる。	1.教育課程における社会科教育の意義、子ども主体の授業実践の方法、支援及び留意点について理解し、社会科における課題解決的な授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校社会科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントを踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、指導意図を説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校社会科における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教員を工夫したり、課題解決的な授業展開を取り入れたりして、積極的に模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、主体的に考えたり、論点を明確にして話し合ったりして振り返り、授業改善に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）	1.教育課程における社会科教育の意義、子ども主体の授業実践の方法について理解し、社会科における課題解決的な授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校社会科の現状と指導上の課題を踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校社会科における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教員を活用したり、課題解決的な授業展開を取り入れたりして、模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、考えたり、話し合ったりして振り返ることができる。（DP3リーダーシップ）
子どもと人間関係	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	1	2	領域「人間関係」の指導で必要となる感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身につける。特に領域「人間関係」の指導の基盤となる、現代の乳幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因やその現代的課題、子ども人間関係の育ちを見る視点としての遊びや生活の中での自尊心の育ち、協同性の育ち、道徳性・規範意識の芽生えについて理解し、他者との関わりや集団との関係の中で乳幼児期の人と関わる力が育つことを理解する。	1.教育課程における算数科教育の意義、子ども主体の授業実践の方法、支援及び留意点について理解し、算数科における課題解決的な授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校算数科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントを踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、指導意図を説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校算数科における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教員を工夫したり、課題解決的な授業展開を取り入れたりして、積極的に模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、主体的に考えたり、論点を明確にして話し合ったりして振り返り、授業改善に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）	1.教育課程における算数科教育の意義、子ども主体の授業実践の方法について理解し、算数科における課題解決的な授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校算数科の現状と指導上の課題を踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校算数科における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教員を活用したり、課題解決的な授業展開を取り入れたりして、模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、考えたり、話し合ったりして振り返ることができる。（DP3リーダーシップ）
子どもと環境	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	1	2	領域「環境」の指導で必要となる感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身につける。特に領域「環境」の指導の基盤となる、現代の子どもを取り巻く環境とその現代的課題、子どもと身近な環境とのかかわりの発達等について学ぶ。子どもが周囲の環境と関わる中で、生命尊重、思考力、科学的概念の芽生え、社会の情勢、日本の伝統文化などについて学んでいく姿を理解する。	1.教育課程における理科教育の意義、子ども主体の授業実践の方法、支援及び留意点について理解し、理科における問題解決的な授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校理科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントを踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、指導意図を説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校理科における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教員を工夫したり、問題解決的な授業展開を取り入れたりして、積極的に模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、主体的に考えたり、論点を明確にして話し合ったりして振り返り、授業改善に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）	1.教育課程における理科教育の意義、子ども主体の授業実践の方法について理解し、理科における問題解決的な授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校理科の現状と指導上の課題を踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校理科における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教員を活用したり、問題解決的な授業展開を取り入れたりして、模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、考えたり、話し合ったりして振り返ることができる。（DP3リーダーシップ）
子どもと言葉	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	1	2	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身につけ想像する楽しさを広げるために必要な基礎知識について視聴覚教材を参照しながら理解し説明できるようにする。具体的には、言葉の意義と機能、言葉の発達過程について理解した上で、乳幼児の言葉を育て、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に活用する知識を獲得するようグループ討論などアクティブラーニングに積極的に参加する。	1.教育課程における生活科教育の意義、保幼小の連携を実現するスタートカリキュラムの意義と内容、具体的で充実した活動の設定、評価方法について理解し、生活科における单元構想の方法について理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校生活科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方や指導のポイントを踏まえ、単元目標や評価規準、主な学習活動活動と留意点等を整理し、説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校生活科における指導内容において、単元目標を達成するための教材や教員を工夫したり、活動形態を工夫したりして、単元案にまとめ、指導意図を説明することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.単元案や子どもが作る作品の交流を通して、単元目標や学習活動、教材選定、評価項目等について、主体的に考えたり、論点を明確にして話し合ったりして振り返り、単元案の改善に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）	1.教育課程における生活科教育の意義、保幼小の連携を実現するスタートカリキュラムの意義と内容、活動の設定、評価方法について理解し、生活科における单元構想の方法について説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校生活科の現状と指導上の課題、これからの指導の在り方を踏まえ、単元目標や評価規準、主な学習活動活動と留意点等を説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校生活科における指導内容において、単元目標を達成するための教材を工夫し単元案にまとめ、説明することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.単元案や子どもが作る作品のの交流を通して、単元目標や学習活動、教材選定、評価項目等について、考えたり、話し合ったりして振り返ることができる。（DP3リーダーシップ）

科目名称		科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
造形表現	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	2	1	「造形基礎」での基礎的学習を踏まえながら、より具体的に子どもの養育に沿った造形活動を行う。「造本」と「立体造形」の制作課題を通し、身近にある様々な素材を広く自主的に取り入れながら、より創造性に重きを置きつつ造形活動について学びを深めていく。また「水粘土遊び」を実践し、集団での造形活動についても学習を深めていく。	1.小学校音楽科について史的背景を含めその内容について説明できるようになる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞などの活動のための知識、技術を身につける（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.音楽科の授業についてアカデミックな視点から考察でき、指導案の作成及び授業の実施ができるようになる（DP2課題発見・解決力）。 4.音楽科の授業を視点に教師の役割を総合的に自覚し、他者と協働しながら使命感と責任感を持って適切な行動ができるようになる（DP3リーダーシップ）。	1.小学校音楽科について的基本的な知識について理解できるようになる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞などの活動のための知識、技術を身につける（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.音楽科の授業について学習指導要領を通して考察でき、指導案の作成及び授業の実施ができるようになる（DP2課題発見・解決力）。 4.音楽科の授業を視点に他者と協働しながら使命感と責任感を持って適切な行動ができるようになる（DP3リーダーシップ）。
身体表現	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	2	1	保育者は子どもの成長・発達・生活状況に応じて様々な保育を行うことができない。この授業では幼児の実態について理解を深め、教材を発達に応じた保育に活用・応用・発展でき、柔軟な対応ができる力を身につける。	1.図画工作科の指導を行うための知識について、具体的な実践の想定を交えて的確に理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.創造や鑑賞の喜びを、実践的に指導するための総合的かつ具体的な思考・技術を獲得することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3.授業で紹介する素材・技法を扱う中で、これまで獲得した造形美術の基礎的知識や造形スキルを応用して、豊かな表現を行うことができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4.授業で扱う課題（素材・技法）の造形活動としての可能性を自ら検討し、実際の授業と児童の姿を想定した豊かな活動へ展開することができる。（DP3リーダーシップ）	1.図画工作科の指導を行うための知識について、概ね理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.創造や鑑賞の喜びを指導するための思考・技術を概ね獲得することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3.これまで獲得した造形美術の基礎的知識や造形スキルを踏まえ、授業で紹介する素材・技法を用いて表現することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4.授業で扱う課題（素材・技法）の造形活動としての面白さに気づき、児童の姿を想定した活動を発案できる（DP3リーダーシップ）
音楽表現	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	子どもの表現を育くむために必要となる、音楽の知識や技術を身につけることが音楽基礎・音楽表現の目標である。音楽表現では、音楽基礎で培った知識や技術を基に、オリジナルティーのある音楽表現ができるようになることを目指す。音楽基礎と同様、ピアノ・歌唱の実技レッスンとクラス授業を並行して行う。クラス授業では、多様な素材を基にオリジナル作品を創り、それをパフォーマンスする活動を中心に行う。これらの活動を通して、アンサンブル、創作に必要な能力を高め、音楽表現の幅を広げていく。	1.初等教育課程における家庭科教育の理念、目標や内容を総合的に理解するとともに、教師として果たすべき役割を理解しその仕事に対する使命感を抱くことができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.児童や児童の置かれている社会の現況に対する課題を理解し、初等教育課程における家庭科教育の意義と結び付けるとともに、その課題を自ら引き受け他者に説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.家庭科教育の授業構成をその環境・教材・教員の工夫を以って立案し、模擬授業や発表に豊かな創造性をもって臨むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.上記の事例について評価指標である「指導案ルーブリック」や「模擬授業ルーブリック」などを以て他者と意見交換し評価しあう場面に主体的に臨み、他者と協働して家庭科教育を創造的に構築することができる。（DP3リーダーシップ）	1.初等教育課程における家庭科教育の理念、目標や内容及び教師として果たすべき基本的な役割を理解している。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.児童や児童の置かれている社会の現況に対する課題と初等教育課程における家庭科教育の意義とを結び付け、他者に説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.家庭科教育の授業構成を基礎的事項を以て計画・立案し、模擬授業や発表に臨んでいる。（DP2課題発見・解決力） 4.上記の事例について評価指標である「指導案ルーブリック」や「模擬授業ルーブリック」を以て意見交換する場面に臨み、他者に学びながら自らの見解を表現し家庭科教育の可能性を見出すことができる。（DP3リーダーシップ）
保育内容総論	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	2	1	総合的な実践としての保育についての理解を深め、各自が保育計画を具体的にデザインする。また、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深めるとともに、実践を展開していくうえで必要な記録や観察の方法およびそれらを支援するツール等の活用法、事例分析の視点を身につける。以上を通して、遊び・生活・環境を通して行われる保育実践の全体像を把握し、今後の学習課題等の明確化する。	1.小学校における体育の教育の意義について理解でき、主体的に考察できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 2.小学校における体育の「体づくり運動、器械運動、陸上運動、水泳、ボール運動、表現運動及び保健」の各領域について理解でき、領域の運動特性に合った指導法を理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校における体育の各領域についてその特性に合った指導技術と指導法を習得できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.学年の発達段階や領域の運動特性にあった単元計画や授業案を作成でき、領域の特性を生かした模擬授業の実践ができるようになる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	1.小学校における体育の教育の意義について理解できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 2.小学校における体育の「体づくり運動、器械運動、陸上運動、水泳、ボール運動、表現運動及び保健」の各領域について理解でき、基礎的な指導法を理解できるように努力できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校における体育の各領域について基礎的な指導技術と指導法を習得できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.学年や領域にあった単元計画や授業案を作成でき、模擬授業の実践ができるようになる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
保育内容（健康）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	2	2	乳幼児期の健康を取り巻く現代的課題や専門的事項を踏まえ、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「健康」のねらい及び内容について理解を深める。心身の健康を育む保育者の援助を踏まえながら、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育の構想、指導方法を身につける。	1.教育課程における外国語教育の意義、子ども主体の授業実践の方法、支援及び留意点について理解し、外国語における授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校外国語の現状と指導上の留意点、これからの指導の在り方や指導のポイントを踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考慮して学習指導案にまとめ、指導意図を説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校外国語における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教具を工夫したり、子ども主体の授業展開を取り入れたりして、積極的に模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、主体的に考えたり、論点を明確にして話し合ったりして振り返り、授業改善に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）	1.教育課程における外国語教育の意義、子ども主体の授業実践の方法について理解し、外国語における授業展開の方法について説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.小学校外国語の現状と指導上の課題を踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考慮して学習指導案にまとめ、説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.小学校外国語における指導内容において、本時のねらいを達成するための教材や教具を活用したり、子ども主体の授業展開を取り入れたりして、模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、考えたり、話し合ったりして振り返ることができる。（DP3リーダーシップ）
保育内容（人間関係）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	2	2	乳幼児期の人間関係を取り巻く現代的課題、および人との関わりや育ちについての専門的事項を踏まえ、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について歴史的な流れを含め理解を深める。豊かな人との関わりを育む保育者の援助を踏まえながら、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育の構想、指導方法を身につける。	1.教職の意義と役割、教師の職務・勤務等に関する制度や法令について理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.教師という職業についての理解と認識を深め、自身の教職観を述べるができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.グループ内でイニシアチブをとって実践事例の検討を行い、児童理解を徹底した教師の役割について考察することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ） 4.教師に求められる資質について、グループ内でイニシアチブをとって議論し、教職に就く意義と責任を明確に自覚することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	1.教職の意義と役割、教師の職務・勤務等に関する制度や法令についての概略を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.教師という職業について理解し、自身の教職観を述べることができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.グループ内で実践事例の検討を行い、教師の役割について考察することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.教師に求められる資質についてグループで議論し、教職に就く意義と責任を自覚することができる。（DP3リーダーシップ）
保育内容（環境）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	2	2	現代の子どもを取り巻く環境や子どもと環境とのかわりについての専門的事項を踏まえ、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について理解を深める。幼児の発達に即して、深い学びが実現する過程を踏まえて、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育の構想、指導方法を身に付け、教材の工夫と研究を行う。	1.教育制度の構造についてその多面的な仕組みを把握し、その本質的な意義や課題を理解できている。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 2.地域社会や福祉制度など社会的観点から俯瞰的に教育制度の仕組みを十分に理解できている。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP2課題発見・解決力） 3.現行の教育制度を自明視せず、今後のあるべき制度について複眼的な視点から自律的に考察できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP3リーダーシップ）	1.教育制度の基本構造についてその仕組みを把握し、その意義や課題を理解できている。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 2.地域社会や福祉制度など社会的観点から教育制度の仕組みを理解できている。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP2課題発見・解決力） 3.現行の教育制度を理解した上で、今後のあるべき制度について考察できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP3リーダーシップ）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
保育内容（言葉）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	乳幼児の言葉に関する現状や課題を踏まえた上で、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。その上で、乳幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	1.乳幼児・児童にかかわる障害の概念と種類について具体的な例を挙げて説明できるようになる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.障害のある子どもの理解の方法、支援の方法について具体的に説明できるようになる（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.障がいのある子どもと個々のニーズに合わせた実践的な配慮方法、発達支援の方法について工夫できる（DP2課題発見・解決力）。 4.障害のある子どもを含めた保育・教育における保育者の役割を総合的に理解し、使命感と責任感をもって適切な行動を選択できる。（DP3リーダーシップ）	1.乳幼児・児童にかかわる障害の概念と種類について説明できるようになる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.障害のある子どもに対する配慮方法、発達支援の方法について工夫ができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3.障害のある子どもを含めた保育・教育における保育者の役割を総合的に理解し、使命と責任を理解してより適切な行動を選択できる。（DP3リーダーシップ）
保育内容（表現）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	実際の表現活動を通して感性と技術を磨き、自分の表現活動を省察することで、子どもの表現活動にかかわる知識を得る。実際の表現活動を踏まえて、幼稚園教育要領等の領域「表現」のねらいを読み取り、子どもの表現を充実させていくために必要な知識を獲得し、表現活動のための手立てについて考える。	1.、学習指導要領および幼稚園教育要領の構成・意義・役割を十分に理解できている。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.、教育課程の編成原理および教育現場に即した編成方法を原理的に深く理解し、積極的に表現できる。（DP2課題発見・解決力） 3.、カリキュラム・マネジメントの意義と役割を十分に理解し、積極的に応用力を身につけようとする意欲をもっている。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）	1.、学習指導要領および幼稚園教育要領の構成・意義・役割を十分に理解できている。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.、教育課程の編成原理および教育現場に即した編成方法を理解し、表現できる。（DP2課題発見・解決力） 3.、カリキュラム・マネジメントの意義と役割を理解し、応用力を身につける意欲をもっている。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）
保育カリキュラム論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	教育課程及び全体的な計画の編成・長期短期的指導計画の作成について、その意義や役割、作成方法を理解し、子どもの生活や育ちにふさわしい指導計画を立案できる力を身につける。また、実際に合わせてカリキュラムマネジメントを行なうことの意義を理解する。	1.、道徳教育に関する理論・方法・歴史などの知識を幅広く理解する。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.、新しい時代における道徳教育を自ら考え構築しうる論理的思考力を身につける。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.、「考える道徳」を本質的な理解に基づき実現することができる実践的指導力を十分に発揮できる。（DP2課題発見・解決力） 4.、道徳教育を担う教員としての使命や倫理観を十分に身につけ、意欲的に実践に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）	1.、道徳教育に関する理論・方法・歴史などの基礎的な知識を習得する。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.、新しい時代における道徳教育に関する論理的思考力を身につける。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.、「考える道徳」を実現することができる実践的指導力を発揮できる。（DP2課題発見・解決力） 4.、道徳教育を担う教員としての使命や倫理観を身につけて、実践に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）
子ども理解の方法	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	保育・教育活動において、実践の対象である子ども、さらにはそれをとりまき家庭や社会を理解することは不可欠である。保育実践は子ども理解を土台に成立しており、それを通してまた理解が更新されることで、実践の質や保育者の力量が高まる。本授業では、そうした子ども理解を得るために必要な基本的な理論や態度を身につけるとともに、種々の方法論や情報機器等の活用方法を理解する。具体的には、実際の保育現場の写真や映像を活用しながら、記録の作成や省察、事例の分析方法やディスカッションの方法を体験的に習得する。	1.教育課程における特別活動及び総合的な学習の時間の意義、子ども主体の実践方法、支援及び留意点について理解し、特別活動及び総合的な学習の時間の具体的な活動の進め方について理解し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.学級活動の現状と指導上の課題、これらの指導の在り方や指導のポイントを踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、活動意図を説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.学級活動の目標を踏まえ、本時のねらいを達成するための事前・事後の活動を考えたり、教材や教具を工夫したり、子ども主体の話し合い活動を取り入れたりして、積極的に模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について、主体的に考えたり、論点を明確にして話し合ったりして振り返り、授業改善に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ）	1.教育課程における特別活動及び総合的な学習の時間の意義、子ども主体の実践方法について理解し、特別活動及び総合的な学習の時間の活動の進め方について説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.学級活動の現状と指導上の課題を踏まえ、教材観や留意点、評価規準、本時の展開を考えて学習指導案にまとめ、説明することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.学級活動の目標を踏まえ、本時のねらいを達成するための事前・事後の活動を考えたり、教材や教具を活用したり、話し合い活動を取り入れたりして、模擬授業に取り組むことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.模擬授業を通して本時のめあてや学習活動、教材選定、評価項目等について考えたり、話し合ったりして振り返ることができる。（DP3リーダーシップ）
教育方法論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	現在の学校や幼稚園・保育所をめぐる環境は難しさを増している。保護者やメディアなどからの視線も厳しくなる中で、社会からの信頼を得るためには、教員・保育者が優れた知?にもとづく地道な実践を、日々積み重ねなければならない。そのためにもまず必要なのは、教育・保育の方法に関する基礎を学生時代にしっかりと身につけることである。 本授業は、その基礎を身につけるための入口となる科目である。具体的には、学習指導や保育実践に必要な教育方法の基礎理論、教育・保育分野の最新動向、小学校および幼児教育・保育の実践方法と計画、実践の基盤となる子ども?解など、様々な事例を交えながら学び、実践的指導の基礎を培うことを目標とする。	1.学校教育におけるICT（情報通信技術）の活用意義や理論について総合的に理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.ICTを活用した学習指導や校務の実践や今後の在り方について理解し、説明できるようにする。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.情報通信技術の活用についての技能を獲得し、児童生徒に指導ができるようになる。（DP2課題発見・解決力）	1.学校教育におけるICT（情報通信技術）の活用意義や理論について基礎的事項を理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.ICTを活用した学習指導や校務の実践や今後の在り方について理解し、基礎的事項を説明できるようにする。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.情報通信技術の活用についての技能を獲得し、児童生徒に指導ができるようになる。（DP2課題発見・解決力）
現代社会福祉論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	社会福祉の基礎概念について概観し、社会保障福祉、障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、地域福祉、ひとり親家庭の福祉、女性福祉の各領域について、法制度などの仕組み、課題、問題について理解を深め、その対応策、解決策について学ぶ。また、これらの問題について知識を深め実態を知り、ソーシャルワークの展開過程を基に、適切な支援とは何かを考えることができるようになる。	1.生徒指導の意義・原理・生徒指導の進め方を理解し、系統的に説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.進路指導、キャリア教育の目的、方法を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 3.小学校教育現場で行われている学級づくりの活動について、その目的や方法をふまえて、受講生間でインシアティブとを実施することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 4.児童の問題行動等の具体的な事例について、留意点を明確にして対応のあり方を検討し、述べることができる。（DP2課題発見・解決力） 5.生徒指導の基本となる傾聴、共感的理解を常に意識しながらグループワークを運営することができる。（DP2課題発見・解決力）	1.生徒指導の意義・原理・生徒指導の進め方の概略を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.進路指導、キャリア教育の目的、方法の概略を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 3.小学校教育現場で行われている学級づくりの活動について、受講生間で実施することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 4.児童の問題行動等の具体的な事例について、対応のあり方を検討し、述べることができる。（DP2課題発見・解決力） 5.生徒指導の基本となる傾聴、共感的理解を意識しながらグループワークに参加することができる。（DP2課題発見・解決力）
子ども家庭支援の心理学	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題等について学ぶ。また、家族・家庭の意義や機能、家族関係について理解するとともに、子育て家庭をめぐる現代の社会状況や子どもの精神保健など、子どもと家庭を包括的に捉える視点を習得する。	1.乳幼児・児童およびその保護者等とかわる保育・教育相談活動における心理・教育臨床の基礎理論を理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.保育・教育相談で取り扱う乳幼児・児童期の課題やニーズを理解したうえで援助技法を説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.保育・教育相談活動を担い、家族や関係機関と協働・連携していく専門職として、カウンセリング、コンサルテーション、コラボレーションのあり方について理解し、保育・教育現場とのつながりを考えることができる。（DP2課題発見・解決力） 4.保育・教育現場における保育者・教師の役割を総合的に理解したうえで、他者と協働しながら適切な行動ができる。（DP3リーダーシップ）	1.教育相談の基礎知識が理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.保育・教育相談で取り扱う乳幼児・児童期の課題とニーズについて基本的な事項が理解できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.保育・教育相談活動を担い、家族や関係機関と協働・連携していく専門職として、カウンセリング、コンサルテーション、コラボレーションのあり方について理解できる。（DP2課題発見・解決力） 4.保育・教育現場における保育者・教師の役割について基本的な事項を理解したうえで、他者と協働しながら適切な行動ができる。（DP3リーダーシップ）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
乳児保育Ⅰ	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	乳児保育が対象とする0～3歳未満の子どもたちは、人生の中でも最も成長・発達 が顕著な時期である。その発達の特徴を理解し、乳児保育の意義、理念、目標、内 容、方法、制度、専門性に関する幅広い基礎的知識を得る。また、寝かしつけ、離 乳食の介助およびオムツ替え等の実践的技術の留意点および保育の意義を理解し、 乳児保育Ⅱの学習内容と繋げる。	1.保育・教育の場での体験活動を通して、子どもの育つ環境における様々な関係や仕 組み、または教育実践や児童・生徒との関係づくりなどについての専門的知識を総 合的に捉え、具体的に説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育の場での体験活動に積極的に参加することを通して、保育・子育ての現 場(家庭含む)や学校現場で生じている問題の解決策を具体的に考え、説明すること ができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.一人ひとりの子どもの発達や個性を考慮した保育・授業の構成や環境・教材・教具 の工夫が必要であることについて保育・教育体験を通して発見し、そのための課題 や解決策を挙げることができる。（DP2課題発見・解決力） 4.保育・教育体験の報告会において、自己の学習課題を明確に把握するとともに、積 極的に他者と協働しながら行動ができる。（DP3リーダーシップ） 5.保育・教育体験の報告会への積極的な参加を通して、自己と他の学生の活動を共有 し、理論と実践を結びつけながら、自らの保育・教育実践力の向上を目指すことが できる。（DP3リーダーシップ）	1.保育・教育の場での体験活動を通して、子どもの育つ環境における関係や仕組み、 または教育実践や児童・生徒との関係づくりなどについての専門的知識を部分的に 捉え、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育の場での体験活動を通して、保育・子育ての現場(家庭含む)や学校現場 で生じている問題の一部について、解決策を考え、説明することができる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・授業の構成や環境・教材・教具の工夫が必要であることについて保育・教育 体験を通して発見し、そのための課題を部分的に挙げるすることができる。（DP2課 題発見・解決力） 4.保育・教育体験の報告会において、自己の学習課題を部分的に把握し、他者と協働 した行動が概ねできる。（DP3リーダーシップ） 5.保育・教育体験の報告会への参加を通して、自己と他の学生の活動を共有すること ができる。（DP3リーダーシップ）
乳児保育Ⅱ	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	1	3歳未満児の発達の過程を踏まえた援助や配慮、関わりの基本的な考え方について理 解する。養護と教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の生活や遊びの実例、保育の方 法及び環境のあり方について具体的に理解を深める。また、乳児保育における援助 の実例、計画の立案について実践的に学ぶ。	(1) 事前指導においては、実習の目的や内容を正しく理解し（DP1-2客観性・自律 性【専門知識】）、子どもの人権と最善の利益の考慮・プライバシーの保護と守秘 義務等についての理解を深めることで、実習計画の立案と実践、観察と記録等が適 切に行えるようになる（客観性・自律性【主体的判断力】）。 (2) 事後指導においては、自己評価から自己の課題を明確化し（DP2課題発見・解 決力）、保育者としての今後の課題ならびに社会で発揮できる力の自覚化が行える （DP3リーダーシップ）。	(1) 事前指導においては、実習の目的や内容が理解でき（DP1-2客観性・自律性 【専門知識】）、子どもの人権と最善の利益の考慮・プライバシーの保護と守秘義 務等についての理解を深めることで、実習計画の立案と実践、観察と記録等がで きようになる（客観性・自律性【主体的判断力】）。 (2) 事後指導においては、自己評価から自己の課題を明確化し（DP2課題発見・解 決力）、保育者を目指すものとしての振り返りを行うことができる（DP3リーダ ーシップ）。
子ども家庭福祉	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	「児童の権利条約」が国連で採択された後も、児童の売買、児童貧困、家庭内暴力 （DV、虐待）等、児童の権利保障の事例は依然として後を断たない。「児童家庭福 祉Ⅰ」では、子どもは家庭や社会との相互関係の中で成長発達していくという基本 的な考えのもとに、児童家庭福祉の歴史的変遷、現状と課題、動向と展望のほか、 児童の権利や発達を保障するための児童福祉の仕組み、諸制度、援助の方法など、 保育士として必要となる児童福祉に関する内容が体系的に学ぶ。また、福祉施設で の実習も念頭に置き、現場で役立つ知識の習得を目指す。	1. 乳幼児期の発達について、授業で学んだことを現実の子どもの身体運動、人間 関係、食事、睡眠リズムなど多角的な観察とつなげて説明ができる（DP1-2客観 性・自律性【専門知識】）。 2. 発達の理解を基盤として、乳幼児のあそびに対する保育士の応答、関与を観察 し、その意図を考察できる（客観性・自律性【主体的判断力】）。 3. 経験したことを日誌に毎日書き、担任の指導を受けて適切な反省ができる （DP2課題発見・解決力）。 4. 保育士の日々の業務を体験しながら知り（DP1-2客観性・自律性【専門知 識】）、保育士の意図を踏まえて環境構成を考え、自らの構想で適切な教材準備が 行える（DP3リーダーシップ）。	1. 乳幼児期の発達の概要を知っており、保育の場で観察した子どもの姿と結び付 けて説明できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2. 乳幼児のあそびに対する保育士の応答、関与を観察し、つながりを考察して記 述することができる（客観性・自律性【主体的判断力】）。 3. 日誌を毎日所定の方法で提出し、担任の指導を受けて適切に改善できる（DP2 課題発見・解決力）。 4. 保育士としての業務を体験し、環境構成や教材準備が行える（DP3リーダ ーシップ）。
子どもの保健	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	子どもの健康が保たれることは、子どもの成長発達に不可欠である。現代の子ども の現状をみると事故、感染症、虐待など多くの問題が子どもの健康を脅かしてい る。本科目ではそれらの問題の原因を理解し問題解決の対策を考察する。	(1) 事前指導においては、実習の目的や内容の理解、子どもの人権と最善の利益の 考慮・プライバシーの保護と守秘義務等についての理解を深め、実習計画の立案と 実践、観察と記録等の実習の準備を主体的に行い、提出物等を遅滞なく提出でき る。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（客観性・自律性―【主体的判断 力】） (2) 事後指導においては、自己評価から自己の課題を明確化し、保育者を目指すも のとして自己覚知を行うと同時に、施設からの評価を踏まえた適切な自己省察を行 うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	(1) 事前指導においては、実習の目的や内容が理解でき、子どもの人権と最善の利 益の考慮・プライバシーの保護と守秘義務等についての理解を深めることで、実 習計画の立案と実践、観察と記録等ができるようになる（DP1-2客観性・自律性【専 門知識】）（客観性・自律性―【主体的判断力】）。 (2) 事後指導においては、自己評価から自己の課題を明確化し、保育者を目指すも のとしての振り返りを行うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リー ダーシップ）
子どもの食と栄養	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	子どもの発育・発達と栄養との関係について認識を深め、栄養の基本を理解する。 子どもの成長の各段階における食事や栄養の問題点について理解を深め、保育者 としてのかわかりについて考察する。さらに、食育の意義を理解し、保育者として子 どもの健康的な発育・発達を支援するための食育について考察する。	1.実習先の福祉施設の社会的役割と支援内容について理解し、職員の指導のもとに支 援を実践することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.実習先の福祉施設における利用児・者への支援技法について理解し、支援を実践す ることができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3.実習先指導者からスーパービジョンを受け、自身の実践をふり返り、日誌にまとめ ることができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.実習先施設における保育者同士の連携、保育者以外の他職種の理解と連携の実践に ついて学び、チームで利用児・者にアプローチする重要性を理解する。（DP2課題 発見・解決力） 5.施設における職員の倫理観や利用児・者への援助感を理解し、自身の保育観と結び つけて考えることができる。（DP3リーダーシップ）	1.実習先の福祉施設の社会的役割と支援内容について理解することができる。 （DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.実習先の福祉施設における利用児・者への支援技法について理解することができ る。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3.実習先指導者からスーパービジョンを受け、日誌にまとめることができる。 （DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.実習先施設における保育者同士の連携、保育者以外の他職種の理解と連携の実践 について学び、理解する。（DP2課題発見・解決力） 5.施設における職員の倫理観や利用児・者への援助感を理解する。（DP3リーダ ーシップ）
社会的養護Ⅰ	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	子どもの最善の利益としての社会的養護のしくみを理解し、子どもを取り巻く環境 としての家庭、地域の問題について学ぶ。今日の児童福祉施設の現状と課題を概観 し、これからの社会的養護のあり方、社会的養護のもとで育つ子どもの支援の在り 方について学ぶ。	事前指導では 1.保育における学びの中に実習がどう位置づいているか、保育士として必要な資質能 力は何かを理解できる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。また、期限を守つ て書類を正しく作成し提出できる（DP3リーダーシップ）。 2.実習開始までに必要な服装、礼儀正しい言葉遣いや態度を身につけようとし、その ために必要な自己課題を適切に特定できる（DP2課題発見・解決力）。 3.保育日誌の書き方を正しく理解して適切な表現で書き方の練習が行える（DP2課題 発見・解決力）。 4.指導計画の目的を理解した上で実際の表記を工夫することができる（DP2課題発 見・解決力）。実習開始との日を遵守した円滑な書類の受け渡しができる（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 事後指導では 1. 巡回指導担当教員の面談で日誌の内容および実習開始の指導内容を反省的に理 解できる（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。自己課題の達成度を自己評 価することができる（DP2課題発見・解決力）。	事前指導では 1. 実習の意義と求められる資質能力を正しく理解し（DP1-2客観性・自律性【専 門知識】）、期限を守って書類を作成し提出することができる（DP3リーダーシ ップ）。 2. 日誌の記載すべき内容と記載方法を知り、エピソード記述を実際に行うことが できる（DP2課題発見・解決力）。 3. 指導計画の考え方を理解し、書式にしたがって書く練習が適切に行える（DP2 課題発見・解決力）。 事後指導では 1. 自己課題に照らして実習全体を振り返り、自己評価をすることができる（DP2 課題発見・解決力）。 2. 巡回指導教員の面談で、日誌の内容を反省し実習開始の指導内容を理解できる （DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。ディスカッションに参加し、他者の 経験を知って改めて反省および課題が特定できる（DP3リーダーシップ）。
社会的養護Ⅱ	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	1	社会的養護のもとで育つ子ども達の抱えている問題について理解し、保育者として 求められる姿勢、支援技法について学び、支援技術を実践することができる。ま た、子どもを育てる専門職としての倫理観を身につけ、自己省察する姿勢を身に付 ける。	事前指導では、1. 乳幼児の発達の個人差を知り（DP1-2客観性・自律性【専門知 識】）、それぞれの必要に応じたかかわりが実践できる（客観性・自律性【主体的 判断力】）。 2. 各年齢に適した指導計画を立案し、実践し、省察ができる（DP2課題発見・解 決力）。 3. 保護者と積極的にかかわり（DP3リーダーシップ）、家庭支援のニーズを考察 して日誌に反映できる（DP2課題発見・解決力）。 4. 日々の目標が視野を広げる方向に展開するよう留意して設定できる（客観性・ 自律性【主体的判断力】）。 5. 目標、実践、省察の内容が活動するよう意識的に経験を構成することができる （DP2課題発見・解決力）。事後指導では、実習経験を総括的に振り返り、経験 の内実を言語化できる（客観性・自律性【主体的判断】）。更なる自己課題を特定で きる（DP2課題発見・解決力）。実習で何が発揮できたかを建設的に省察し、社会 で生かせる個性を考察できる（DP3リーダーシップ）。	事前指導では、1. 乳幼児の発達の個人差を知り（DP1-2客観性・自律性【専門知 識】）、それぞれの必要を考えながら子どもとかわかることができる（客観性・自 律性【主体的判断力】）。 2. 各年齢の発達を意識して指導計画を立案し、実践し、保育士の指導を謙虚に受 けることができる（DP2課題発見・解決力）。 3. 保護者とのかわかりに努め、保護者の心情を理解できるよう具体的な努力が行 える（DP3リーダーシップ）。 4. 日々の目標が視野を広げる方向に展開するよう留意して設定できる（客観性・ 自律性【主体的判断力】）。 5. 目標、実践、省察の内容が活動するよう意識的に経験を構成することができる （DP2課題発見・解決力）。事後指導では、実習経験を総括的に振り返り、今後 の自己課題を自覚できる（DP2課題発見・解決力）。

科目名称		科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
子ども家庭支援論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2		社会の変化とともに家庭のあり方も変化し、子育て家庭も多様化していく中で、保育の仕事に携わる者として、子育て家庭の現状を理解し、必要とされる支援のあり方、その目的を理解するとともに、様々な支援のアプローチについて学ぶ。「育ち」「親育ち」「親子関係の育ち」を支える家庭支援について理解を深める。	事前指導 1.利用児・者と施設の特徴・役割を理解し、保育実習Ⅰでの学びを振り返ることができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.専門職として利用児・者に関わる態度や姿勢を理解し、必要な知識や支援技術についても理解する。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 事後指導 3.保育者としての自身の成長、課題に目向け、他の学生にもピアスーパービジョンをすることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	事前指導 1.利用児・者と施設の特徴・役割を理解する。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.専門職として利用児・者に関わる態度や姿勢を理解する。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 事後指導 3.保育者としての自身の成長、課題に目向けることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
					子どもの成長発達と健康は時代の流れとともに変化してきており、その背景にある家族関係・社会環境を考慮していくことが重要である。本科目では具体的事例の演習を通して子どもの健康を維持増進できる活動を保育の現場で実践できる技術・技能を身に付ける。	1.利用児・者の主体性と自己決定を支援するアプローチについて学び、社会福祉実践としての意味を理解した実践をすることができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.実習先施設の特徴を理解し、地域における役割や利用児者・者の家族との対応を学び、支援技術や概念を前提とした支援を実践することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.他機関との連携方法について理解し、実際の取り組みについて学び、社会福祉におけるアプローチについて説明することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	1.利用児・者の主体性と自己決定を支援するアプローチについて学び、実践することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.実習先施設の特徴を理解し、地域における役割や利用児者・者の家族との対応を学び、実践することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.他機関との連携方法について理解し、実際の取り組みについて学び、説明することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
子どもの健康と安全	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	1		子どもの成長発達と健康は時代の流れとともに変化してきており、その背景にある家族関係・社会環境を考慮していくことが重要である。本科目では具体的事例の演習を通して子どもの健康を維持増進できる活動を保育の現場で実践できる技術・技能を身に付ける。	1.安定した親子関係が形成されるような子育て支援のあり方について総合的に理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.子どもの遊びや親子関係の様子を観察し記録をもとに考察することができる（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.子どもの自発性を大切にしながら、子どもの発達を促す関わりを総合的・継続的に実践することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.子育て支援の指導計画を自ら立案することができる。（DP2課題発見・解決力） 5.保育者として、子どもの発達や個人差に応じた環境構成を考えようとする意識を常に持ち続けることができる。（DP3リーダーシップ）。	1.安定した親子関係が形成されるような子育て支援のあり方について基礎的事項を理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.子どもの遊びや親子関係の様子を観察し記録することができる（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.子どもの自発性を大切にしながら、子どもの発達を促す関わりを部分的に実践することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.子育て支援の指導計画の一部を立案することができる。（DP2課題発見・解決力） 5.保育者として、子どもの発達や個人差に応じた環境構成を考えようとする意識を部分的に持つことができる。（DP3リーダーシップ）。
					現在、子育ては家庭だけでなく、社会全体で子育てを行っていくという考え方が主流になりつつある。この授業では、子育て支援の意義や役割、制度といった基本的な内容を学びを深める。さらに、子ども、親、地域が一体になって子育てすることの大切を理解し、家庭の子育てと緊密な連携を図り、子育て支援ネットワークの中核的役割を担う人材を育成することを目指す。	1.子どもの発達に応じた子育て支援の年間計画を理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.子どもの活動や親子の関わりの様子を観察し記録をもとに考察を深めることができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.年間計画の立案することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.自ら活動内容をまとめ、プレゼンテーションをすることができる。（DP3リーダーシップ） 5.他者と協働しながら子育て支援における保育者の役割を総合的に学ぶことができる。（DP3リーダーシップ）	1.子どもの発達に応じた子育て支援の年間計画を基礎的事項を理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.子どもの活動や親子の関わりの様子を観察し記録をもとに考察できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.年間計画の一部を立案することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.活動内容の一部をまとめ、プレゼンテーションをすることができる。（DP3リーダーシップ） 5.他者と協働しながら子育て支援における保育者の役割の基礎を学ぶことができる。（DP3リーダーシップ）
保育者論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2		幼稚園・保育所・認定こども園で保育を行う保育者の免許および資格ならびに関連法規について学び、その職務について概要を理解する。職務については、日々のルーティンの理解から、あそび、あそびへの援助、家庭や地域との連携、同僚性、専門性など多岐にわたる内容の理解を要する。子どもの多様性への理解を基盤に、援助にいたる事例をもとに問いをたてて考察を行う力を養う。実習経験に基づく自己課題を克服する意義を明確化していく。	（1）事前指導においては、子どもの発達および各国の教育方針を理解したうえでの実習目標、自己課題をもつことができる。また、必要書類の準備、保育教材の作成等を丁寧に扱い、日誌の書き方などを身に付け、積極的に実習に臨む準備ができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえての自己の課題を明確化し、実習での体験をより深化させ、教師を目指すものとしての振り返りを行うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	（1）事前指導においては、子どもの発達および各国の教育方針を踏まえ実習目標、自己課題をもつことができる。また、必要書類の準備、保育教材の作成等を行い、日誌の書き方などがわかり、実習に臨む準備ができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を振り返り自己の課題を明確化し、実習での体験をまとめることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
					児童文化の定義及び特色を理解し、児童文学、絵本、紙芝居、人形劇、ペープサート、パネルシアターなどの児童文化財に実際に触れながら、それぞれの児童文化財の特色を理解し、子どもの育ちを支えるためのそれらの活用方法について学ぶ。また子どもの文化としての遊びについて考え、子どもの文化の伝承の問題を考察する。さらに、児童文化施設や児童文化事業について理解し、子どもの育ちにとって文化的環境がいかに関わり、どのような意味を持つのかについて考察する。	1. 保育現場に積極的に身をおきながら、幼稚園の役割や機能について具体的に理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2. 実際の保育場面において適切な観察や幼児とのかかわりを通して、幼児理解を深めることができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3. 事前指導や既習の教科の内容を関連付けながら、共感的受容的に幼児とのかかわることができるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4. 実習を振り返り、教師の意図や幼児理解を適切に日誌にまとめたり、自己評価等について具体的に思考・判断したりできるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 5. 幼稚園教諭の業務内容に積極的に参加するとともに、職業倫理について具体的に学び実践できる。（DP3リーダーシップ）	1. 保育現場に身をおき、幼稚園の役割や機能について部分的にでも理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2. 実際の保育場面において観察や幼児とのかかわりを通して、幼児を理解するようになる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3. 事前指導や既習の教科の内容を踏まえて、自分なりに幼児とのかかわることができるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4. 実習を振り返り、教師の意図や幼児の姿を日誌にまとめようとしたり、自己評価について思考・判断したりできるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 5. 幼稚園教諭の業務内容に参加するとともに、職業倫理について具体的に学ぶことができるようになる。（DP3リーダーシップ）
国語科教育	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2		小学生の言語能力の内容と発達をふまえ、小学校国語科学習指導要領の目標と内容について系統的に理解するとともに、それらを学習指導としてどのように具現化するか、指導事例に基づいて考察する。また、教科書教材等をもとに「話す・聞く・書く・読む」活動を実際に行い、小学校教諭として必要となる国語の力を高めるとともに、児童の側に立った国語科学習指導のあり方、今日求められている国語学力等について検討する。	（1）事前指導においては、幼稚園教育実習Ⅰでの成果と課題を踏まえて、さらに子どもの発達や各国の教育方針を理解したうえでの実習目標、自己課題を適切にもつことができる。また、実習のために必要な手続きを滞りなく進めるとともに、自分の構想した保育の指導計画を立案し実習に臨むことができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえての自己の課題を明確化し、実習での体験をより深化させ、教師を目指すものとしての振り返りを行うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	（1）事前指導においては、幼稚園教育実習Ⅰでの成果と課題、子どもの発達や各国の教育方針を理解したうえでの実習目標、自己課題をもつことができる。また、実習のために必要な手続きを進めるとともに、保育の指導計画を立案し実習に臨むことができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえての自己の課題を振り返り、実習での体験をより深化させることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
					小学校における社会科では、子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身に付けられるように指導していくことが大切である。このためには社会科の指導内容や指導上の留意点等について深く理解する必要がある。本講義では、小学校学習指導要領に示された、「地域社会の社会的事象」、「我が国の国土と産業」、「我が国の歴史、政治及び国際理解」という指導内容を理解する。また、社会科の教科としての特質や社会科教育の果たすべき役割について理解する。	（1）事前指導においては、幼稚園教育実習Ⅰでの成果と課題を踏まえて、さらに子どもの発達や各国の教育方針を理解したうえでの実習目標、自己課題を適切にもつことができる。また、実習のために必要な手続きを進めるとともに、保育の指導計画を立案し実習に臨むことができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえての自己の課題を振り返り、実習での体験をより深化させることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	（1）事前指導においては、幼稚園教育実習Ⅰでの成果と課題、子どもの発達や各国の教育方針を理解したうえでの実習目標、自己課題をもつことができる。また、実習のために必要な手続きを進めるとともに、保育の指導計画を立案し実習に臨むことができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえての自己の課題を振り返り、実習での体験をより深化させることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
算数科教育	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	小学校における算数科教育では、子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身に付けられるように指導していくことが大切である。このためには算数科の指導内容や指導上の留意点等について深く理解する必要がある。本講義では、小学校学習指導要領に示された、A「数と計算」、B「図形」、C「測定（変化と関係）」、D「データの活用」という領域構成を踏まえ、系統的に算数科の指導内容を理解するとともに、数学的活動の特質について理解する。また、授業実践につながる具体的事例から、算数科の教科としての特質や意義、目的について理解する。	1. 環境を構成する力、幼児を理解する力、ふさわしい援助のあり方など、幼稚園教諭として必要な実践力を身に付ける。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2. 指導担当教諭の指導助言を適切に受け止め、反省したことから自分なりに改善点を見出し、次の実践に活かすことができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3. 十分に検討した指導計画を立案し、主体的に実践することで、教育の営みを総合的に思考することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	1. 環境を構成する力、幼児を理解する力、援助のあり方など、幼稚園教諭としての実践力を身につけようとする。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2. 指導担当教諭の指導助言を受け止め、反省点を次の実践に活かそうとする。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3. 自分なりに指導計画を立案し実践することで、教育の営みを思考しようとする。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
理科教育	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	小学校における理科教育では、子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身に付けられるように指導していくことが大切である。このためには理科の指導内容や指導上の留意点等について深く理解する必要がある。本講義では、小学校学習指導要領に示された、A「物質・エネルギー」、B「生命・地球」という内容構成を踏まえ、系統的に理科の指導内容を理解する。また、先進的な理科教育研究に携わっている外部講師の講話を聴き、これからの理科教育の在り方について理解する。さらに、国立科学博物館でのフィールドワークを通して、社会教育施設等との連携の在り方について理解する。	（1）事前指導においては、子どもの発達および各学校の教育方針を理解した上で実習目標、自己課題を明確に立てることができる。また、教育実習に向けて学習指導案の作成等が滞りなくできる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえて自己の課題を明確化し、実習での体験をより深化させ、教師を目指すものとしての振り返りを適切に行うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	（1）事前指導においては、子どもの発達および各学校の教育方針を理解した上で実習目標、自己課題を立てることができる。また、教育実習に向けて学習指導案の作成等ができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえて自己の課題を把握し、教師を目指すものとしての振り返りを行うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
生活科教育	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	生活科教育は、スタートリキュラムの中心となる教科である。幼保小の連携を踏まえ、生活科教育に位置づく9つの内容について深く理解する必要がある。本講義では、生活科の内容の中から「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」に視点を当て、北の公園をフィールドにして、公園にある様々な素材を生かした単元構想に取り組む。この取り組みによって、単元の学習における目標や評価規準の設定の仕方、目標を達成するための必要な具体的な活動、支援方法、教材研究の在り方等について理解する。	1.小学校における教職について理解し、実習記録として具体的に記述することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.観察や授業実践を通して児童理解を深め、実習記録として具体的に記述することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3.学習指導、学級経営について、児童の発達段階や実態をふまえた指導を検討し、よりよい指導の方策を考察することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4.教材研究を多角的に行い、学習指導案を作成することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 5.授業展開に必要な指導技術を用いて、児童の実態に即した授業実践を行うことができる。（DP2課題発見・解決力） 6.児童や教職員と積極的にコミュニケーションを図り、教職への認識を深めることができる。（DP3リーダーシップ）	1.小学校における教職について順略的理解し、実習記録として記述することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.観察や授業実践を通して児童を理解し、実習記録として記述することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3.学習指導、学級経営について、児童の発達段階や実態をふまえた指導を検討することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4.教材研究を行い、学習指導案を作成することができる。（技能） 5.基本的な指導技術を用いて授業実践を行うことができる。（DP2課題発見・解決力） 6.児童や教職員とコミュニケーションを図ることができる。（DP3リーダーシップ）
家庭科教育	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	小学校における家庭科教育で取り扱う家族・家庭生活、食生活、衣生活、性生活、消費生活と環境という学習内容の学びを通して、学校教育における家庭科教育の意義や目的を理解する。さらに、少子高齢化社会や家庭の機能性が十分に果たされていないといった社会的背景に照らし、児童やその家庭生活が直面する現代的な課題と家庭科教育のなかかわりについて理解し、児童が自律して生きる基礎を培うための創造的・実践的な思考と態度を身に付ける。	1. 小学校、幼稚園、保育所での授業・保育を想定した模擬授業・模擬保育を計画し、的確な展開ができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP3リーダーシップ） 2. 教員・保育者の倫理とはどのようなことを、教育現場の実態に即して考察し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3. 子どもの安全が脅かされる事態を想定し、危険防止のために教員・保育者ができることを述べられる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 4. 指導計画および実践の記録について、その意義と役割を知り、実践とのつながりを理解して実際に書くことができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 5. 教育・保育現場と地域もしくは家庭との連携の必要性を知り、どのような連携がなされているか、どのような連携が今後求められるかを考察できる。さらに、おたより等の作成で主体的な取り組みがなされ、完成度の高い内容や書き方ができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（課題解決・発見力） 6. 模擬授業・模擬保育またはロールプレイに積極的かつ主体的に参加し、その意義を考察できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力）	1. 小学校、幼稚園、保育所での授業・保育を想定した模擬授業を計画し、意図的に模擬授業を行うことができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP3リーダーシップ） 2. 教員・保育者倫理について知り、自らの生活改善の必要性を認識し、説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3. 子どもの安全が脅かされる場面を想定し、それを回避するための防止策を挙げることができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 4. 指導計画および実践の記録について、書式にしたがった記載ができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 5. 教育・保育現場と地域もしくは家庭との連携について、その必要性を知り、おたより等が作成できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（課題解決・発見力） 6. 模擬授業・模擬保育またはロールプレイに関心をもって参加することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力）
児童英語	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	小学校教育における外国語学習の充実を図るため、これからの国際化社会を見据えて児童が外国語を学習することの意義や課外国における外国語教育の現状についての認識を深める。また、主に英語を用いて外国語教育のための教材作成法や指導法などを具体的に学び、小学校教育現場で必要とされる基礎的な授業構成力を身に付ける。	1.我が国における自然災害の特質を理解し、保育・教育施設における安全計画の内容及び、防災教育の進め方を総合的に説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育施設における子どもの安全確保、リスクマネジメント、災害発生時に取り組む内容等について、説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育施設における地域性を踏まえた防災教育の進め方を理解し、危機管理マニュアルの活用や地域・社会との連携のあり方等を踏まえた今日の課題や解決策を総合的に考察できる。（DP2課題発見・解決力） 4.保育・教育施設における安全教育、防災教育の内容を踏まえ、保育者・教育者として危機管理上の役割を自覚し、命を守る使命感と責任感をもって適切な行動ができる。（DP3リーダーシップ）	1.我が国における自然災害の特質を理解し、保育・教育施設における安全計画の内容及び、防災教育の進め方を理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.日本や課外国における子どもの安全確保、リスクマネジメント、災害発生時に取り組む内容等について、説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育施設における地域性を踏まえた防災教育の進め方を理解し、危機管理マニュアルの活用や地域・社会との連携のあり方等を踏まえた今日の課題を考察できる。（DP2課題発見・解決力） 4.保育・教育施設における安全教育、防災教育の内容を踏まえ、保育者・教育者としての役割を自覚し、命を守る行動ができる。（DP3リーダーシップ）
初等教科教育法（国語）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	小学校学習指導要領における国語科の目標及び内容、全体構想についての理解をふまえ、授業設計の実践的技能と態度を身に付ける。授業記録（録画）を実際に見聴いたり、一連の授業実践の流れにそって模擬授業を実施したりすることを通して、児童の実態把握、教材研究、教材・教員の活用、学習指導案の作成、学習指導と評価等、児童の言語活動を活性化する国語科学習指導のあり方について考察・検討する。	1.保育・教育施設の経営の意義及び目的について総合的に説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.日本や課外国の保育・教育施設の制度や仕組みの現状及びその課題について経営的視点から総合的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育の方法及びカリキュラムと物的・空間的環境構成の関係性について経営的視点から総合的に説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.保育・教育施設づくりに必要な物的・空間的環境について総合的に理解し、施設づくりを実践的に学ぶことで課題や解決策を考察できる。（DP2課題発見・解決力） 5.理想の保育・施設づくりの実践を通して、経営的視点から保育・教育者の役割を総合的に自覚し、使命感と責任感をもって適切な行動ができる。（DP3リーダーシップ）	1.保育・教育施設の経営の意義及び目的について基本的な事項を説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.日本や課外国の保育・教育施設の制度や仕組みの現状及びその課題について経営的視点から基本的な事項を説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育の方法及びカリキュラムと物的・空間的環境構成の関係性について経営的視点から基本的な事項を説明できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 4.保育・教育施設づくりに必要な物的・空間的環境について基本を理解し、施設づくりを実践的に学ぶことで課題や解決策に取り組める。（DP2課題発見・解決力） 5.理想の保育・施設づくりの実践を通して、経営的視点から保育・教育者の役割の基本的な事項を自覚し、使命感と責任感をもって行動ができる。（DP3リーダーシップ）
初等教科教育法（社会）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	小学校における社会科では、子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身に付けられるように指導していくことが大切である。このためには社会科教育で学んだ指導内容や指導上の留意点等をもとに、具体的な指導方法や指導技術を身に付けることが必要である。本講義では、社会科教育の目標や指導内容を踏まえ、教科書の活用の仕方、教材の作成と活用方法、資料活用のあり方、学習指導上の留意点と対応方法について理解する。さらに具体的な授業場面を設定し、模擬授業を行うことで、実践的な指導力を身に付け、教師として教壇に立つイメージをもつ。	1.特別な教育や福祉のニーズを持つ子どもの背景を理解し、その対策や支援方法について、適切に説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.障害を持つ当事者や家族がこの社会で過ごすにあたって抱える思いを想像し寄り添い、自身の当たり前を見直すとともに共感的に適切な支援を実践することができる。（DP1-3客観性・自立性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ） 3.公衆衛生の視点から子どもへの性的虐待を予防する重要性を理解し、子ども及び組織への支援方法を実践することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	1.特別な教育や福祉のニーズを持つ子どもの背景を理解し、その対策や支援方法について、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.障害を持つ当事者や家族が抱える思いに寄り添い、支援を実践することができる。（DP1-3客観性・自立性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ） 3.公衆衛生の視点から子どもへの性的虐待を予防する重要性を理解し、子どもへの支援方法を実践することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）

科目名称		科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
初等教科教育法（算数）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	小学校における算数科では、子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身に付けられるように指導していくことが大切である。このためには算数科教育で学んだの指導内容や指導上の留意点等をもとに、具体的な指導方法や指導技術を身に付けることが必要である。本講義では、算数科教育の目標や指導内容を踏まえ、教科書の活用の仕方、教材の作成と活用方法、効果的な数学的活動のあり方、学習指導上の留意点と対応方法について理解する。また、学習指導案のもつ意味と実際の作成方法、授業評価のあり方について理解する。さらに具体的な授業場面を設定し、模擬授業を行うことで、実践的な指導力を身に付け、教師として教壇に立つイメージをもつ。	1.児童学の特定の分野において、保育領域・教科に関する専門的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と自己の存在を、自分を取り巻く事象と関連付けて理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育の現場で生じている課題やニーズに関わる多様な情報を、収集・分析して適切に判断し、自分の課題に沿って効果的に活用できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育領域・教科に関する文獻講読などを通して、情報や知識を複眼的、理論的に分析し（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）、子どもの発達に応じた保育・授業の構成や個に応じた支援を遂行できる。（DP2課題発見・解決力） 4.自己の保育・教育実践を省察するための分析能力、問題解決能力を身につけ、効果的にプレゼンテーションすることができる。（DP3リーダーシップ）	1.児童学の特定の分野において、保育領域・教科に関する専門的な知識を理解するとともに、その知識体系の意味を理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育の現場で生じている課題やニーズに関わる情報を、収集・分析し、自分の課題に沿って活用できる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育領域・教科に関する文獻講読などを通して、情報や知識を理論的に分析し（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）、子どもの発達に応じた保育・授業の構成や個に応じた支援を遂行できる。（DP2課題発見・解決力） 4.自己の保育・教育実践を省察するための分析能力、問題解決能力を身につけ、プレゼンテーションすることができる。（DP3リーダーシップ）
初等教科教育法（理科）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	小学校における理科教育では、子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身に付けられるように指導していくことが大切である。このためには理科教育で学んだ指導内容や指導上の留意点等をもとに、具体的な指導方法や指導技術を身に付けることが必要である。本講義では、理科教育の目標や指導内容を踏まえ、教科書の活用の仕方、教材の作成と活用方法、安全で効果的な観察・実験の方法、学習指導上の留意点と対応方法について理解する。また、学習指導案のもつ意味と実際の作成方法、授業評価のあり方について理解する。さらに具体的な授業場面を設定し、模擬授業を行うことで、実践的な指導力を身に付け、教師として教壇に立つイメージをもつ。	1.児童学に関する諸分野から各自が取り組む研究テーマを主体的に設定し、研究計画を遂行する過程を理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育実践の現場で研究を行う場合は、研究倫理規程に十分配慮することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.研究テーマを探究するために、主体的に、先行文献・資料等収集、分析考察精査等を的確に行うことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.分析考察等の結果を最終的に卒業研究の論文としての確に表現し、発表することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	1.取り組み研究テーマを設定することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.研究倫理規程について基本的な事項を理解し、配慮を試みることができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.研究テーマを探究するために、先行文献・資料収集、分析考察精査等を行うことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.分析考察等の結果を論文の形式さまとめ、発表することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
初等教科教育法（生活）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	生活科教育は、スタンダードカリキュラムの中心となる教科であり、幼児小の連携を踏まえ、子どもが主体的に取り組める学習を設定していくことが大切である。このためには生活科教育で学んだ「公鑑」をフィールドにした単元構想の方法や具体的な指導方法の在り方をもとに、幅広い対象を取り入れた単元構想や具体的な指導方法、指導技術を身に付けることが必要である。本講義では、生活科の目標や指導内容を踏まえ、教科書の活用の仕方、教材の作成と活用方法、地域社会との連携のあり方、学習指導上の留意点と対応方法について理解する。また、学習指導案のもつ意味と実際の作成方法、授業評価のあり方について理解する。さらに具体的な単元を構想することで、地域の特性を活かすことの大切さを理解し、実践的な指導力を身に付け、教師として教壇に立つイメージをもつ。	1.染織品の特徴を正確に理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.染織品の特徴に合わせた基本的な修復方法や技法を検討、選択ができるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.染織品に必要な基本的技術を正確に習得できるようになる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 4.実習を通して染織品についての理解を深め、文化財修復へ応用できる。（DP2課題発見・解決力） 5.リーダーシップを発揮し、他者とともに協働して主体的に実験・実習を遂行できる。（DP3リーダーシップ）	1.染織品の特徴を理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.染織品の特徴に合わせた基本的な修復方法や技法を検討し理解できるようになる（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.染織品に必要な基本的技術を習得できるようになる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 4.実習を通して染織品の理解を深め、文化財修復について考えることができる。（DP2課題発見・解決力） 5.リーダーシップを発揮し、他者とともに協働して実験・実習を遂行できる。（DP3リーダーシップ）
初等教科教育法（音楽）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	小学校教育における音楽科についての基本的知識を得ると同時に、授業実践に必要な基礎的知識・技能を身に付ける。また、学習指導要領における音楽科の目標や内容の裏面とその背景を掘り、さらに音楽科の現代的な課題を理解する。音楽をどのような感じ、鑑賞し、表現するかについて、小学校音楽科の教材や指導法に即した方法で、身体を使った実践を取り入れながら理解を深める。	1.小学校音楽科について史的背景を含めその内容について説明できるようになる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.歌唱、楽案、音楽づくり、鑑賞などの活動のための知識、技術を身に付ける（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.音楽科の授業についてアカデミクな視点から考察でき、指導案の作成及び授業の実施ができるようになる（DP2課題発見・解決力）。 4.音楽科の授業を視点に教師の役割を総合的に自覚し、他者と協働しながら使命感と責任感を持って適切な行動ができるようになる（DP3リーダーシップ）。	1.小学校音楽科についての基本的な知識について理解できるようになる（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2.歌唱、楽案、音楽づくり、鑑賞などの活動のための知識、技術を身に付ける（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）。 3.音楽科の授業について学習指導要領を通して考察でき、指導案の作成及び授業の実施ができるようになる（DP2課題発見・解決力）。 4.音楽科の授業を視点に他者と協働しながら使命感と責任感を持って適切な行動ができるようになる（DP3リーダーシップ）。
初等教科教育法（図画工作）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	小学校教育における図画工作科についての基本的知識を得ると同時に、授業実践に必要な基礎的知識、技能を身に付ける為の制作演習を行う。また、学習指導要領における図画工作科の目標や内容及び美術教育に於ける現代的な課題も理解していく。小学校図画工作科の教材や指導法に即した方法により、楽しく豊かな造形表現を身近な素材の中から幅広く行い、また鑑賞することの楽しさも含めその知識や感性を身に付ける。	1.給の着物の制作工程や技術を理解し、説明ができ、作品を正確に仕上げることができる（DP1-2客観性・自律性－専門知識・DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.給の着物の構造と縫製技法を今まで習得した技法と比較し、その違いや特徴を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.着物と小物と取り合わせについて理解し、自分の着物の3-D イットを考え、提案することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.和服の重ね着の法則を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識）	1.給の着物の作品を仕上げることができる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.給の着物の構造と縫製技法を理解できる。（判断・DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.着物と小物と取り合わせについて理解し、自分の着物の3-D イットを考えることができる。（DP2課題発見・解決力） 4.和服の重ね着の法則を理解することができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識）
初等教科教育法（家庭）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	小学校教員養成課程における教科教育法のひとつとしての家庭教育科について、その意義や使命を理解し、小学校家庭科を指導する際に必要な基礎的な内容を理解する。さらに教材研究に基づいた学習指導案の立案、模擬授業等を通して、小学校の教育現場における創造的な思考と主体的・実践的な態度を身に付ける。	1.給の着物の制作工程や技術を理解し、説明ができ、作品を正確に仕上げることができる（DP1-2客観性・自律性－専門知識・DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.給の着物の構造と縫製技法を今まで習得した技法と比較し、その違いや特徴を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.着物と小物と取り合わせについて理解し、自分の着物の3-D イットを考え、提案することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.和服の重ね着の法則を理解し、説明することができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識）	1.給の着物の作品を仕上げることができる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.給の着物の構造と縫製技法を理解できる。（判断・DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.着物と小物と取り合わせについて理解し、自分の着物の3-D イットを考えることができる。（DP2課題発見・解決力） 4.和服の重ね着の法則を理解することができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識）
初等教科教育法（体育）	家政学部 教育科目	学科専門 児童学科	3	2	小学校における「体育科教育」は、運動活動を通して自己の課題を見付け、その解決能力を養い、心と体を一体として捉えて、生涯にわたる心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としている。この授業では、学習指導要領を元に、その概要と理論を理解し、実技と模擬授業によって単元計画や指導案の作成、指導法などの実践力を身につける。	1.人体の構成・骨格系・筋系・皮膚系など被服形態に役立つ人体に関する情報について、機能役割も含めて説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.人体計測の方法について目的別に説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.人体の基本サイズ、いろいろな体型やサイズ変化について説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 4.JISサイズについて経緯も含めて説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 5.アパレル生産のしくみを理解し説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 6.体型とパターンとの関係について考察し、衣服デザインへの応用ができる。（DP2課題発見・解決力） 7.アパレル設計に関して造形学視点から興味や関心、問題点が理解できるようになる。（DP2課題発見・解決力）	1.人体の構成・骨格系・筋系・皮膚系など被服形態に役立つ人体に関する情報について説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.人体計測の方法について説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.人体の基本サイズ、いろいろな体型やサイズ変化について説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 4.JISサイズについて説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 5.アパレル生産のしくみを説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 6.体型とパターンとの関係について考察し、衣服デザインへの応用ができる。（DP2課題発見・解決力）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
初等教科教育法（外国語）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	小学校における外国語は、外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語の比較を通して身に付くように指導していくことが大切である。また、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を通して、外国語によるコミュニケーションに活用できる基礎的な技能を身に付ける必要がある。本講義では、外国語の指導内容や指導上の留意点等を基に、具体的な指導方法を理解する。また、具体的な指導場面を設定し、模擬授業を行うことで、実践的な指導技術を身に付ける。	1.デザイン面からパターン設計が正確に理解できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.正確なファーストパターンが描ける。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.地直し、ピン打ちが正しくでき、生地を使ってきれいな立体に仕上げることができる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 4.様々な衣服パターンへの関心が高まり、制作への関心・意欲が高まる。（DP2課題発見・解決力）	1.デザイン面からパターン設計が理解できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.ファーストパターンが描ける。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.地直し、ピン打ちができ、生地を使って立体に仕上げることができる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 4.様々な衣服パターンへの関心が高まり、制作への関心・意欲が高まる。（DP2課題発見・解決力）
教職論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	本講義の目的は、教職を目指す学生が、教職の意義と役割、教員の職務・勤務等に関する制度や法令について総合的に学び、教師という職業への理解と認識を深めることである。また、幼稚園・小学校や教員をめぐる諸課題について、教職に就く意義と責任を自覚し、今後の教職に求められる資質について考察していく。さらに具体的な実践例についてグループワーク等を通して考察することにより、将来の教師としての児童理解及び英理解を深めていく。	1.計測点・計測項目を正しく理解できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.計測機器を使って正確な計測ができる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.計測データの処理方法を理解し、的確にデータ処理できる。（DP2課題発見・解決力） 4.動作に伴う人体サイズの変化を正しく理解し、衣服・パターンへの応用について考察できる。（DP2課題発見・解決力） 5.着心地の良い衣服制作に関して人間工学的な視点から関心を持つことができる。（DP2課題発見・解決力） 6.リーダーシップを発揮し、他者とともに協働して主体的に実験・実習を進行できる。（DP3リーダーシップ）	1.計測点・計測項目の名称と部位が理解できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.計測機器を使って計測ができる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.計測データを使ってデータ処理できる。（DP2課題発見・解決力） 4.動作に伴う人体サイズの変化を理解し、衣服・パターンへの応用について考えることができる。（DP2課題発見・解決力） 5.着心地の良い衣服制作に関して関心を持つことができる。（DP2課題発見・解決力） 6.リーダーシップを発揮し、他者とともに協働して実験・実習を進行できる。（DP3リーダーシップ）
教育制度論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	本授業は、日本における教育制度の概要と成り立ちを把握し、制度構成全体の見取り図を描くことを目的とする。教師という職業に就く上で、教育内容・方法、あるいは学級・学校運営といった日々の職務内容を知り、実践するだけでは不十分である。教員は国の教育制度に位置づけられ、その制度枠組みの中で職務を行われる。したがって、教員の仕事や教育という営みが、どのような制度的根拠をもとに実施されているのかを知り、その知識を制度の活用やよりよい制度構想に活かす力を身に付けることを目標とする。 また、公教育の制度は人々が学び育つ権利を保障するという点でセーフティネットの機能を持つ。したがって教育制度は福祉制度と折り重なり補うあう関係であり、そのような視点から教育を理解できるようになることが、もう一つの目標とする。。	1.色彩の基本的な知識や効果を知ること、日常生活の中で、色彩をどのように選び、活用したらよいのかを理解して、考えを述べることができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.デザイン、企画に必要な色彩の基本的なDP1-3客観性・自律性－専門技能を身に付け、独自性のあるデザイン表現ができるようになる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.毎日の生活において色彩・デザインに関心を高めることができ、積極的に情報収集と活動を始める。（DP2課題発見・解決力）	1.色彩の基本的な知識や効果を知ること、日常生活の中で、色彩をどのように選び、活用したらよいのかを理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.デザイン、企画に必要な色彩の基本的なDP1-3客観性・自律性－専門技能を身に付け、表現ができるようになる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.毎日の生活において色彩・デザインに関心を高めることができる。（DP2課題発見・解決力）
特別支援教育・保育概論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	特別な教育もしくは保育ニーズのある乳幼児や児童に対する適切な対応方法を学ぶために、障害の概念に関する正しい知識と支援を必要とする子どもへの肯定的な・態度について理解する。本講義では、障害の特性、理解の方法、支援方法について具体的に学ぶ。	1.「被服デザインⅠ」を基礎にして、各自の身のまわりにある衣に関する問題点を事例に、デザイン・プロセスにそって問題解決のデザインを考えて説明することができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.アパレル製品の企画・設計について理解し、時代性や産業界の視点から発想や表現ができるようになる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.以降のデザイン関連科目やデザインの実践に向けて自身の特性を生かすステップアップを考えて計画する。（DP2課題発見・解決力） 4.アパレル業界のデザインの仕事が理解でき、企画・製品設計に関心意欲が持てるようになり、客観的な視点でデザイン表現ができる。（DP2課題発見・解決力） 5.リーダーシップを発揮し、他者とともに協働して主体的に実験・実習を進行できる。（DP3リーダーシップ）	1.「被服デザインⅠ」を基礎にして、各自の身のまわりにある衣に関する問題点を事例に、デザイン・プロセスにそって問題解決のデザインを考えることができる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.アパレル製品の企画・設計について理解し、発想や表現ができるようになる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.以降のデザイン関連科目やデザインの実践に向けてステップアップを考える。（DP2課題発見・解決力） 4.アパレル業界のデザインの仕事が理解でき、企画・製品設計に関心意欲が持てるようになる。（DP2課題発見・解決力） 5.リーダーシップを発揮し、他者とともに協働して実験・実習を進行できる。（DP3リーダーシップ）
教育課程論	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	カリキュラム（教育課程）をいかに編成するのか、その内容によって教育現場における実践内容が大きく左右される。言葉をかえれば、子どもの教育経験を方向づける重要な位置づけにあるのが教育課程と言えるだろう。また、現代日本における教育課程と密接な関係性をもつ学習指導要領および幼稚園教育要領の内容や論理、歴史的変遷などを把握することは、実践的指導力を有する教師を目指す上で不可欠な学習内容となる。したがって、本授業を通じて、カリキュラムの基本概念や意義、目的、方法などを理解し、その知識を応用しう力を培う。	1.「被服デザインⅠ」「被服デザインⅡ」の理解の上に、将来、デザイン分野、企画分野の進へ進むための基礎能力を養い、デザイン発想の方法について説明できる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.デザイン表現をするための専門知識と技術を習得し、発見的に創造する。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.デザイン発想と表現ができる。適切なプロセスを判断する。（DP2課題発見・解決力） 4.デザイナーの仕事が理解でき、アパレル業界の企画・デザインに関心意欲が持てるようになり、情報収集を始める。（DP2課題発見・解決力）	1.「被服デザインⅠ」「被服デザインⅡ」の理解の上に、将来、デザイン分野、企画分野の進へ進むための基礎能力を養うことができる。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.デザイン表現をするための専門知識と技術を習得する。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.デザイナー発想と表現ができるようになる。（DP2課題発見・解決力） 4.デザイナーの仕事が理解でき、アパレル業界の企画・デザインに関心意欲が持てるようになる。（DP2課題発見・解決力）
道徳の指導法	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	“道徳”とは何か?“道徳”を“教育”するとはどういう行為でありどのような意味を持つのか?これらの問いに即答できる人がどれだけいるだろうか。 道徳は過去の規範の継承と同時に、未来へ向けた新たな規範の構築という二面性を持つ。価値観の多様化や技術革新が進む現代社会では、とくに後者の側面が重要となる。さらに、現在の道徳教育で求められている「考える道徳」を実現させるためには、子どもだけでなく教員も道徳的な事例について深く「考える」必要がある。そこで本授業では、道徳教育の実践的指導法だけでなく、教員自らが道徳に関して自律的に考察・判断し、それを実践に反映させる力を養うことを目標とする。	1.「デザイン計画Ⅰ」で習得した専門知識を応用し、専門職として実践できるようにさらに深めていく。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.今までに学んだ知識を基盤に新しい方向性を予測しながら、実践方法を体得する。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.ファッション産業界における企画発想、デザイン提案の方法について理解でき、創造的な表現ができるようになる。（DP2課題発見・解決力） 4.企画、デザインの発想のための情報に積極的に触れ、時代が求めるデザインへの関心意欲が持てるようになり、さらに情報収集を実行する。（DP2課題発見・解決力）	1.「デザイン計画Ⅰ」で習得した専門知識を専門職として実践できるようにさらに深めていく。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 2.今までに学んだ知識を基盤に実践方法を体得する。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.ファッション産業界における企画発想、デザイン提案の方法について理解でき、表現できるようになる。（DP2課題発見・解決力） 4.企画、デザインの発想のための情報に積極的に触れ、時代が求めるデザインへの関心意欲が持てるようになる。（DP2課題発見・解決力）
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	4	2	小学校における特別活動は、様々な構成の集団から学校生活を捉え、主体的に課題の発見や解決を行うことで、よりよい集団形成や学校生活を充実をめざすものである。この活動の中で子どもたちは、よりよい人間関係を形成するとともに、社会参加の大切さや自己実現のよさを学んでいく。本講義では、特別活動の内容である、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事について、目標や指導内容について理解する。また、学級活動に視点を当て、議題選定の方法や子ども主体の話し合いの進め方、教材の作成と活用方法、学習指導上の留意点と対応方法について理解する。また、学習指導案のもつ意味と実際の作成方法、授業評価のあり方について理解する。さらに具体的な課題を設定し、模擬授業を行うことで、実践的な指導力を身に付け、教師としての教壇に立つイメージをもつ。 小学校における総合的な学習の時間は、探究的な学習活動によって横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決することを通して、自己の生き方を考えていくための資質・能力の獲得を目指すものである。この学習の中で、子どもたちは発見した課題を探究的な学習によって解決方法を学んでいく。本講義では、総合的な学習の時間の教育的な意義や学校教育における位置付け、指導計画の作成方法等について理解する。また、学習指導の方法や学校の体制整備等についても理解を深める。	1.デザインの本質を理解し、被服デザインの意義について、歴史・産業的な視点から事例を示して説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.デザインの歴史の流れを理解し、現代のデザインへと関連付けて考えることができ、時代が求めるデザインを創造する。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.造形理論の知識を身につけ、独自性のあるアパレル製品の企画・設計を実行する。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 4.以降のデザイン関連科目やデザインの実践に向けて自身の特性を視野に入れてステップアップを考える。（DP2課題発見・解決力）	1.デザインの本質を理解し、被服デザインの意義について説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.デザインの歴史の流れを理解し、現代のデザインへと関連付けて考えることができ、デザインを創造する。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.造形理論の知識を身につけ、アパレル製品の企画・設計を実行する。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 4.以降のデザイン関連科目やデザインの実践に向けてステップアップを考える。（DP2課題発見・解決力）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
教育とICT活用	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	1	情報通信技術の活用の歴史的背景や意義、学校教育における情報化の流れなどの講義および各回のテーマについて自ら考えることで知識や思考を深める。また、実際に情報機器やプログラミングなどの実習を通じて、情報通信技術の活用についての技能を獲得し、児童生徒に指導ができることを目指す。	1.デジタルイラストレーションやコンピュータアニメーションを用いてファッションデザインを表現する方法を理解して説明ができる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 2.修得した知識や技術を独創的なファッションデザインの提案に应用することができる。(DP2課題発見・解決力) 3.作品のコンセプトを提案することができ、デジタルツールを用いてコンセプトに基づいた独創的なデザインを具現化できる。(DP2課題発見・解決力) 4.作品に表現したコンセプトやメッセージを説明して、正しく理解してもらうことができる。(DP2課題発見・解決力)	1.デジタルイラストレーションやコンピュータアニメーションを用いてファッションデザインを表現する方法を理解できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 2.修得した知識や技術をファッションデザインの提案に应用することができる。(DP2課題発見・解決力) 3.デジタルツールを用いてデザインを具現化できる。(DP2課題発見・解決力、DP1-3客観性・自律性－専門技能) 4.作品に表現したコンセプトやメッセージを説明できる。(DP2課題発見・解決力)
生徒・進路指導の理論と方法	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	生徒指導は、学習指導とともに学校教育の基本となる機能である。近年、児童の置かれている生活環境、家庭環境、価値観が多様化し、生徒指導は複雑化かつ困難の度を増してきている。本授業においては、生徒指導の理論を理解するとともに、学級集団において児童を指導・支援していくための確方法について考察する。特に、児童理解の方法、学級集団活動、児童の問題行動、学校の指導体制といった実践的な課題を中心に取り上げ、適切な生徒指導のあり方について学ぶ。また、進路指導、キャリア教育は、児童の望ましい勤労観・職業観の育成にかかわる重要な援助・指導であることから、小学校におけるキャリア教育の目的、内容、方法の基礎的理解を深める。	1.アパレルCADを用いた製品設計・製造の方法と工程を理解して説明ができる。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) 2.パターンの作図に必要なアパレルCADの基本操作ができ、応用ができる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 3.体型に基づくパターン作図方法を理解した上で、アパレルCADを用いて基本的なスカートのパターンを作図できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 4.ダーツ等を用いた立体造形の構造的な意味を理解した上で、アパレルCADを用いて身頃のパターンを作図ができる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 5.3Dシミュレーションの結果を理解し、パターンの改善点を提案できる。(DP2課題発見・解決力)	1.アパレルCADを用いた製品設計・製造の方法と工程を理解できる。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) 2.パターンの作図に必要なアパレルCADの基本操作ができる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 3.アパレルCADを用いて基本的なスカートのパターンを作図できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 4.アパレルCADを用いて身頃原型のパターンを作図ができる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 5.3Dシミュレーションの結果を理解できる。(DP2課題発見・解決力)
教育相談の理論と方法	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	社会の実容とともに、教育現場では、いじめ、不登校、社会性の未熟さや発達の違い、虐待などさまざまなリスクがあることが指摘されている。このような状況の中、教育相談とは子どもの育ちへの支援を目的とする教育方法であり、教育実践の枠組みである。本科目で用いる「教育相談」の概念には、保育・教育者が行う相談活動および保育・教育者と連携して行う心理臨床等を基盤とした相談活動の両方を含む。したがって、どちらにも共通して必要な教育相談の理論と方法およびそれぞれの専門的立場を活かした相談活動とコラボレーションのあり方について学習する。	1.複数の身頃原型について造形的な特徴を把握し、人体計測に基づく原型の作成方法を理解して説明ができる。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) 2.人体計測に基づく原型の作成方法を理解した上で、アパレルCADを用いて複数の身頃原型を作成できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 3.人体の3D形状との対応を考慮し、アパレルCADを用いて袖・襟を含むブラウスのパターンを作成できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 4.独創的なファッションデザインを提案し、アパレルCADを用いてファッションイラストレーションに基づいたパターンを作成できる。(DP2課題発見・解決力)	1.複数の身頃原型について造形的な特徴を理解して説明ができる。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) 2.アパレルCADを用いて複数の身頃原型を作成できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 3.アパレルCADを用いて袖・襟を含むブラウスのパターンを作成できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 4.アパレルCADを用いてファッションイラストレーションに基づいたパターンを作成できる。(DP2課題発見・解決力)
保育・教育フィールド演習	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	児童学に関連する職業を実際に体験することを通して、職務内容および職業倫理等を実際に学ぶことを目的とする。具体的には、実際の保育・子育ての現場での子どもと保育者または親子のかかわりを通して、子どもの育つ環境における様々な関係や仕組みを体験的に学んだり、学校現場での授業見学や指導補助などを通して、小学校教育の実践と児童・生徒との関係づくり等を体験的に学ぶことなどがある。授業の初回にはオリエンテーション、中間及び最終回には受講者同士でそれぞれの活動を報告し共有する。	1.保育・教育の場での体験活動を通して、子どもの育つ環境における様々な関係や仕組み、または教育実践や児童・生徒との関係づくりなどについての専門的知識を総合的に捉え、具体的に説明できる。(DP1-2客観性・自律性【専門知識】) 2.保育・教育の場での体験活動に積極的に参加することを通して、保育・子育ての現場(家庭含む)や学校現場で生じている問題の解決策を具体的に考え、説明することができる。(DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】) 3.一人ひとりの子どもの発達や個性を考慮した保育・授業の構成や環境・教材・教具の工夫が必要であることについて保育・教育体験を通して発見し、そのための課題や解決策を挙げることができる。(DP2課題発見・解決力) 4.保育・教育体験の報告会において、自己の学習課題を明確に把握するとともに、積極的に他者と協働しながら行動ができる。(DP3リーダーシップ) 5.保育・教育体験の報告会への積極的な参加を通して、自己と他の学生の活動を共有し、理論と実践を結びつけながら、自らの保育・教育実践力の向上を目指すことができる。(DP3リーダーシップ)	1.保育・教育の場での体験活動を通して、子どもの育つ環境における関係や仕組み、または教育実践や児童・生徒との関係づくりなどについての専門的知識を部分的に捉え、説明できる。(DP1-2客観性・自律性【専門知識】) 2.保育・教育の場での体験活動を通して、保育・子育ての現場(家庭含む)や学校現場で生じている問題の一部について、解決策を考え、説明することができる。(DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】) 3.保育・授業の構成や環境・教材・教具の工夫が必要であることについて保育・教育体験を通して発見し、そのための課題を部分的に挙げるができる。(DP2課題発見・解決力) 4.保育・教育体験の報告会において、自己の学習課題を部分的に把握し、他者と協働した行動が概ねできる。(DP3リーダーシップ) 5.保育・教育体験の報告会への参加を通して、自己と他の学生の活動を共有することができる。(DP3リーダーシップ)
保育実習Ⅰ（保育所）事前事後指導	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	1	保育実習Ⅰ（保育所）は、2週間の保育所実習を通して、保育所保育についての理解を深め、保育士としての資質と実践力を身につけることを目指す。その事前指導として、保育所保育指針を理解し、実習計画・実習日誌の書き方を指導する。また、書類作成の仕方をつけ、期日を遵守して提出することの意義を理解し実行する。事後指導ではグループディスカッションや事例検討を通して今後の課題を明確化し、実習体験を深化させる。	消費者調査を正しく行う方法を理解し、調査設計から分析に至る一連の方法と調査結果を考察するための知識を修得し、他の人に説明ができるようになる。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) マーケティングデータの読み込み等において、基本的理解ができるレベルを目指す。具体的到達目標として、次の2点を挙げる。 1.仮説構築に基づく調査設計から分析に至る、消費者調査の流れを理解し、基本的な調査設計ができるようになる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 2.第三者の作成した消費者調査票を考察して、良い点、悪い点を指摘できるようになる。(DP2課題発見・解決力)	消費者調査を正しく行う方法を理解し、調査設計から分析に至る一連の方法と調査結果を考察するための知識を修得し、他の人に説明ができるようになる。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) マーケティングデータの読み込み等において、基本的理解ができるレベルを目指す。具体的到達目標として、次の2点を挙げる。 1.仮説構築に基づく調査設計から分析に至る、消費者調査の流れを理解し、基本的な調査設計ができるようになる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 2.第三者の作成した消費者調査票を考察して、良い点、悪い点を指摘できるようになる。(DP2課題発見・解決力)
保育実習Ⅰ（保育所）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科			保育所での実習を体験することで、保育所の機能、保育士の基本的な役割などを体験的に理解する。具体的には、乳幼児の発達やあそび、園生活の一日の流れや保育計画の内容についての理解と実践を経験し、保育士の進捗の取り方など保育所特有の職務内容に踏み込んだ最低限の実践的技能を身につける。	1.基本的な統計分析と多変量解析を理解して正確に説明ができ、データ分析に応用できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 2.基本的な統計や多変量解析をプロダクトやサービス、ブランドなどの評価に応用して、的確な考察ができる。(DP2課題発見・解決力) 3.他者と協働してプロダクトやサービス、ブランドなどを評価した結果を説明し、正確に理解してもらうことができる。(DP3リーダーシップ)	1.基本的な統計分析と多変量解析を理解して、データ分析に応用できる。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 2.基本的な統計や多変量解析をプロダクトやサービス、ブランドなどの評価に応用できる。(DP2課題発見・解決力) 3.他者と協働してプロダクトやサービス、ブランドなどを評価した結果を説明できる。(DP3リーダーシップ)
保育実習Ⅰ（施設）事前事後指導	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	1	保育実習Ⅰ（施設）は、2週間の施設実習を通して、福祉施設についての理解を深め、保育士としての資質と実践力を身につけることを目指す。その事前指導として、保育所保育指針を理解し、実習計画・実習日誌の書き方を身につける。また、事後指導ではグループディスカッションや事例検討を通して今後の課題を明確化し、実習体験を充実させる。	1.「デザイン計画Ⅰ」「デザイン計画Ⅱ」で学んだ専門知識を基盤に、原製服を提案していく専門職としての知識を習得し、企画案を説明する。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) 2.今までに学んできた知識を基盤に、実践方法を体得し創造する。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 3.アパレル業界の実務内容や提案方法に基づき、時代を捉えた企画の発想、提案、構成ができるようになる。(DP2課題発見・解決力) 4.アパレル業界の企画の仕事が理解でき、商品企画に関心意欲を持ち、関連情報の収集を積極的に行う。(DP2課題発見・解決力)	1.「デザイン計画Ⅰ」「デザイン計画Ⅱ」で学んだ専門知識を基盤に、原製服を提案していく専門職としての知識を習得する。(DP1-2客観性・自律性－専門知識) 2.今までに学んできた知識を基盤に、実践方法を体得する。(DP1-3客観性・自律性－専門技能) 3.アパレル業界の実務内容や提案方法に基づき、企画の発想、提案、構成ができるようになる。(DP2課題発見・解決力) 4.アパレル業界の企画の仕事が理解でき、商品企画に関心意欲が持てるようになる。(DP2課題発見・解決力)

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
保育実習Ⅰ（施設）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	施設の实習では、施設と家庭、地域、社会との関係、利用児・者を取り巻く社会資源や他機関との連携、利用児・者への援助方法、施設職員の姿勢や態度などを理解し、施設における保育士の職務と役割を理解することが主な実習内容となる。利用児・者への最善の利益の尊重をはじめとし、保育者に求められる倫理観、行動規範について学ぶ。	1.ファッション産業の構造や動向を把握できるようになる。（DP2課題発見・解決力） 2.アパレル業界特有のマーケティング・マーチャンダイジング活動について理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.ファッションビジネスのマーケティングについて基礎的な戦略を構築できるようになる。（DP2課題発見・解決力）	1.ファッション産業の構造や動向を把握できるようになる。（DP2課題発見・解決力） 2.アパレル業界特有のマーケティング・マーチャンダイジング活動について理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識）
保育実習Ⅱ（保育所）事前事後指導	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	4	1	事前指導では、オリエンテーションに始まる実習について、必要な事務のおよび実務の準備を行い、言葉使いや服装、態度など具体的な心構えを形成する。また自分の実習課題を明確に自覚し、子ども達と直接かかわる際の基本的な態度、応答のあり方、記録の取り方などを理解する。事後指導では、巡回指導を担当した教員との面談を実施し、実習日誌の記載と担当保育士による指導内容を振り返る。実習で何を経験したのかを意識化すると共に、発見、疑問、さらなる課題を明確化する。	1.「デザイン企画Ⅰ」で組み立てた仮想ブランドについて、商品企画の実践を行い、専門的な知識を習得し、構成案を説明する。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.今までに学んできた知識を基盤に、実践方法を体得し創造する。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.アパレル業界の実務内容や提案方法に基づき、時代を捉えた企画の発想、提案、構成ができるようになる。（DP2課題発見・解決力） 4.アパレル業界の企画の仕事が理解でき、商品企画に関心意欲を持ち、関連情報の収集を積極的に行う。（DP2課題発見・解決力）	1.「デザイン企画Ⅰ」で組み立てた仮想ブランドについて、商品企画の実践を行い、専門的な知識を習得する。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.今までに学んできた知識を基盤に、実践方法を体得する。（DP1-3客観性・自律性－専門技能） 3.アパレル業界の実務内容や提案方法に基づき、企画の発想、提案、構成ができるようになる。（DP2課題発見・解決力） 4.アパレル業界の企画の仕事が理解でき、商品企画に関心意欲が持てるようになる。（DP2課題発見・解決力）
保育実習Ⅱ（保育所）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	4	2	保育所において、概ね12日間の実習を行う。将来の保育士としての自覚をより確かなものにし、保育士として必要な保育実践力を身につける。内容的には保育実習Ⅰ（保育所）の内容に加え、家庭および地域と保育所の連動にもふれて、家庭支援のニーズと実際をも体験的に学ぶ。乳幼児の発達個人差に対応した応答を実践し、保育士としての判断力を養うとともに、保育士にふさわしい実践的な能力を身につける。また指導計画を立案し、計画に基づいた実践を行い、必要な省察について保育士の指導を受ける。環境構成は保育士の意図に沿って年齢による発達の違いを考慮して行う。	具体的到達目標として、次の2点を挙げる。 1.ファッションビジネス、特に小売業の仕組みを理解する。同時にファッション小売業の基盤である販売職の職務内容を理解し、販売職の役割と重要性を認識できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.日本のファッション小売業を客観的に理解した上で、今後の方向性について、自らの意見を持つことができるようになる。（DP2課題発見・解決力）	具体的単位修得目標として、次の2点を挙げる。 1.ファッションビジネス、特に小売業の仕組みを理解する。同時にファッション小売業の基盤である販売職の職務内容を理解し、販売職の役割と重要性を認識できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.日本のファッション小売業を客観的に理解した上で、今後の方向性について、考察することができるようになる。（DP2課題発見・解決力）
保育実習Ⅲ（施設）事前事後指導	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	4	1	事前指導では、保育実習Ⅰ（施設）での学びを踏まえ、施設職員に求められる専門性についてふり返り、自身の課題を明確化し、実習に臨む姿勢を整える。専門職として利用児・者に関わる態度や姿勢だけでなく、必要な知識や支援技術について学ぶ。事後指導では、事後面談において保育者としての自身の課題、強みについて振り返り、グループワークでは、ピアスーパービジョンの場として、自身の実践を振り返り、保育者としての専門性について学びを深める。	事前指導 1.利用児・者と施設の特徴・役割を理解し、保育実習Ⅰでの学びを振り返ることができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.専門職として利用児・者に関わる態度や姿勢を理解し、必要な知識や支援技術についても理解する。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 事後指導 3.保育者としての自身の成長、課題に目を向け、他の学生にもピアスーパービジョンをすることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	事前指導 1.利用児・者と施設の特徴・役割を理解する。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.専門職として利用児・者に関わる態度や姿勢を理解する。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 事後指導 3.保育者としての自身の成長、課題に目を向けることができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
保育実習Ⅲ（施設）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	4	2	保育実習Ⅲでは、保育所以外の児童福祉施設等でおおむね11日以上の実習を行う。保育実習Ⅰ（施設）での学びを前提として、施設職員に求められる専門性と役割を理解し、利用児・者の主体性と自己決定を尊重する姿勢や支援技術を学ぶ。また、利用児・者だけでなく、その家族とも信頼関係を築き、関係機関と連携してアプローチすることの重要性、地域における施設の役割を理解し、施設単独で事業を行っているのではなく、ネットワークが構築され、そのネットワークが利用児・者支援につながっていることを理解し、利用児・者への個別のアプローチだけでなく、コミュニティアプローチについても学ぶ。	1.皮膚生理を正しく学んだ上で、化粧品役割を科学的に理解し、説明できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.各種化粧品の特徴、効果効能を正しく理解し、説明できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 3.衣生活における衛生学的視点を理解し、興味関心をもつことができる。（DP2課題発見・解決力）	1.皮膚生理を正しく学んだ上で、化粧品役割を科学的に理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.各種化粧品の特徴、効果効能を正しく理解できるようになる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識）
保育・子育て支援実践演習（基礎）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	4	子どもの保育とともに子育て支援が重要な役割となっている中、保育・子育て支援実践演習Ⅰでは大学内の子育て支援施設において、実際に乳幼児期の親子と関わることを通して、親子関係や子ども同士の仲間関係の発達、親同士の交流の実態について学ぶ。学生は実際の活動を計画・実践し、記録などを通して振り返るといった往還的な学びを通して、保育・子育て支援の実践力を身につけることが目指される。	1.安定した親子関係が形成されるような子育て支援のあり方について総合的に理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.子どもの遊びや親子関係の様子を観察し記録をもとに考察することができる（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.子どもの自発性を大切にしながら、子どもの発達を促す関わりを総合的・継続的に実践することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.子育て支援の指導計画を自ら立案することができる。（DP2課題発見・解決力） 5.保育者として、子どもの発達や個人差に応じた環境構成を考えようとする意欲を常に持ち続けることができる。（DP3リーダーシップ）。	1.安定した親子関係が形成されるような子育て支援のあり方について基礎的事項を理解することができる。（DP1-2客観性・自立性【専門知識】） 2.子どもの遊びや親子関係の様子を観察し記録することができる（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.子どもの自発性を大切にしながら、子どもの発達を促す関わりを部分的に実践することができる。（DP2課題発見・解決力） 4.子育て支援の指導計画の一部を立案することができる。（DP2課題発見・解決力） 5.保育者として、子どもの発達や個人差に応じた環境構成を考えようとする意欲を部分的に持つことができる。（DP3リーダーシップ）。
保育・子育て支援実践演習（発展）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	4	4	子育て支援活動の計画立案・実行・検討を通して、保育・子育て支援の実践力を身につけることが目指される。そのためには、子どもの年齢発達や個人差に応じた年間計画を立案し、実行した後に、客観的な省察を行うことや、他の学生と協働する活動を経験することによってチームワークの大切さを学ぶ、グループディスカッションの場では自分の考えをプレゼンテーションする力を獲得したり、他者の考え方を聞くことで柔軟性や複眼的な視点を獲得することを目指すものである。	1.被服と健康との関わりを温熱生理、形態、運動、心理等の面から理解し説明できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.日常の衣生活での衛生学的諸問題について思考し適確な判断ができる。（DP2課題発見・解決力） 3.衣生活における衛生学的視点を理解し、興味関心をもつことができる。（DP2課題発見・解決力）	1.被服と健康との関わりを温熱生理、形態、運動、心理等の面から理解できる。（DP1-2客観性・自律性－専門知識） 2.日常の衣生活での衛生学的諸問題について思考し適確な判断ができる。（DP2課題発見・解決力） 3.衣生活における健康への視点をもつことが出来る。（DP2課題発見・解決力）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
幼稚園教育実習Ⅰ （事前事後指導）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	1	幼稚園教育実習Ⅰは、二週間の観察実習を通して幼児教育について理解を深め、教育者としての基礎を培うことを目指す。その事前指導として、幼稚園教育要領を理解し、実習目標、実習日誌の書き方等を身につける。また事後指導では、グループディスカッションや事例検討を通して今後の課題を明確化し、実習体験を深化させる。	1.被服が有する諸機能のうち被服と環境のかかわりを自然科学および社会科学的な見地から理解し説明できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.被服と環境のかかわりを深く理解し、関連する諸問題について思考し、よりよい判断をすることができる。（DP2課題発見・解決力）	1.被服が有する諸機能のうち被服と環境のかかわりを自然科学または社会科学的な見地から理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.被服と環境のかかわりを考え、関連する諸問題について思考することができる。（DP2課題発見・解決力）
幼稚園教育実習Ⅰ	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	2	2	家政学部児童学科の学生が幼稚園教諭としての基礎を培うため、幼稚園の機能、幼児の発達や生活、園の一日の流れや教育課程・指導計画、幼稚園教諭の職務内容・基本的な役割などを体験的に学ぶ。 観察実習を中心として、通宜、部分実習を行う。	1．保育現場に積極的に身をおきながら、幼稚園の役割や機能について具体的に理解できる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2．実際の保育場面において適切な観察や幼児とのかかわりを通して、幼児理解を深めることができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3．事前指導や既習の教科の内容を関連付けながら、共感的受容的に幼児とかわることができるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4．実習を振り返り、教師の意図や幼児理解を適切に日誌にまとめたり、自己評価等について具体的に思考・判断したりできるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 5．幼稚園教諭の業務内容に積極的に参加するとともに、職業倫理について具体的に学び実践できる。（DP3リーダーシップ）	1．保育現場に身をおき、幼稚園の役割や機能について部分的にでも理解できる。DP1-2客観性・自律性【専門知識】）。 2．実際の保育場面において観察や幼児とのかかわりを通して、幼児を理解するようになる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 3．事前指導や既習の教科の内容を踏まえて、自分なりに幼児とかわることができるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 4．実習を振り返り、教師の意図や幼児の姿を日誌にまとめようとしたり、自己評価について思考・判断したりできるようになる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 5．幼稚園教諭の業務内容に参加するとともに、職業倫理について具体的に学ぶことができるようになる。（DP3リーダーシップ）
幼稚園教育実習Ⅱ （事前事後指導）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	1	幼稚園教育実習Ⅱは、二週間の観察実習・部分実習・責任実習実習を通して幼児教育について理解をさらに深め、教育者としての資質と実践力を高めることを目指す。その事前指導として、配属園の教育方針を理解したうえでの実習目標、指導計画の立案の方法等を指導する。また事後指導では、グループディスカッションや事例検討を通して今後の課題を明確化し、実習体験を深化させる。	幼稚園教育実習Ⅱは、二週間の観察実習・部分実習・責任実習実習を通して幼児教育について理解をさらに深め、教育者としての資質と実践力を高めることを目指す。その事前指導として、配属園の教育方針を理解したうえでの実習目標、指導計画の立案の方法等を指導する。また事後指導では、グループディスカッションや事例検討を通して今後の課題を明確化し、実習体験を深化させる。	（1）事前指導においては、幼稚園教育実習Ⅰでの成果と課題を踏まえて、さらに子どもの発達や各園の教育方針を理解したうえでの実習目標、自己課題を適切にもつことができる。また、実習のために必要な手続きを滞りなく進めるとともに、自分の構想した保育の指導計画を立案し実習に臨むことができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえての自己の課題を明確化し、実習での体験をより深化させ、教師を目指すものとしての振り返りを行うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
幼稚園教育実習Ⅱ	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	幼稚園教諭として求められる実践力を高めることを目指す。園の教育課程・指導計画の内容を理解し、自らが部分実習・責任実習の指導計画を立案し、主体的に保育を行う機会を得ながら学ぶ。さらに、家庭や地域との連携、地域における園の役割についても学ぶ。	幼稚園教諭として求められる実践力を高めることを目指す。園の教育課程・指導計画の内容を理解し、自らが部分実習・責任実習の指導計画を立案し、主体的に保育を行う機会を得ながら学ぶ。さらに、家庭や地域との連携、地域における園の役割についても学ぶ。	1．環境を構成する力、幼児を理解する力、ふさわしい援助のあり方など、幼稚園教諭として必要な実践力を身につける。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2．指導担当教諭の指導助言を適切に受け止め、反省したことから自分なりに改善点を見出し、次の実践に活かすことができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】）（DP2課題発見・解決力） 3．十分に検討した指導計画を立案し、主体的に実践することで、教育の営みを総合的に思考することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
小学校教育実習（事前事後指導）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	1	小学校教育実習は、4週間の実習を通して、小学校教育について理解を深め、教育者としての資質と実践力を身につけることを目指す。その事前指導として、配属校の教育方針を理解したうえで指導計画の立案や評価の方法、特別活動、課外活動等について指導する。また事後指導では、グループディスカッションや事例検討を通して今後の課題を明確化し、実習体験を深化させる。	小学校教育実習は、4週間の実習を通して、小学校教育について理解を深め、教育者としての資質と実践力を身につけることを目指す。その事前指導として、配属校の教育方針を理解したうえで指導計画の立案や評価の方法、特別活動、課外活動等について指導する。また事後指導では、グループディスカッションや事例検討を通して今後の課題を明確化し、実習体験を深化させる。	（1）事前指導においては、子どもの発達および各学校の教育方針を理解した上で実習目標、自己課題を明確に立てることができる。また、教育実習に向けて学習指導案の作成等が滞りなくできる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】）（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） （2）事後指導においては、実習を踏まえて自己の課題を明確化し、実習での体験をより深化させ、教師を目指すものとしての振り返りを適切に行うことができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）
小学校教育実習	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	4	小学校における4週間の教育実習を通し、児童理解を深め、体験的総合的に小学校教諭の職務を知る。また、学習指導案の作成、実際の授業体験により、教科等の適切な指導方法を体得し、実践的な指導力を培う。さらに、児童の個性や生活環境をふまえた学級経営の実践を学ぶ。地域との連携にも注目し、保護者や地域の人々との連携のあり方を知る。	1.エンタピー、エントロピー、ギブスの自由エネルギーなどの熱力学の変数に関して、その化学的意味の差異を理解し、化学反応における熱力学変数の変化の計算ができる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 2.浸透圧、凝固点効果、沸点上昇などの化学的意味を理解し、基本的な計算ができる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 3.物質の状態変化や状態図の概念を理解し、食品加工との関わりが理解できる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 4.コロイド科学、移動現象論における重要な用語に関して、定義や化学的意味を文章で説明できる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 5.復習をきちんとし講義内容を着実に身に付け、与えられた演習問題をきちんと解くことができる。（DP1-3客観性・自律性―主体的判断力）	1.エンタピー、エントロピー、ギブスの自由エネルギーなどの熱力学の変数に関して、化学反応における熱力学変数の変化の計算ができる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 2.浸透圧、凝固点効果、沸点上昇などの化学的意味を理解できる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 3.物質の状態変化や状態図の概念を理解できる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 4.コロイド科学、移動現象論における重要な用語の定義を聞いたときに日本語で語句を答えられる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識） 5.復習をして講義内容を着実に身に付け、与えられた演習問題を解答を見ながら理解できる。（DP1-3客観性・自律性―主体的判断力）
保育・教職実践演習（初等）	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	4	2	教員として求められる「使命感や責任感」「社会性や対人関係能力」「乳幼児・児童の理解」「幼児教育・保育の実践力」を学ぶ。講義のほか模擬実践や事例研究、ロールプレイを通して幼児教育、初等科教育を担う者としての専門性を高め、実践力を養う。授業内容には小学校、幼稚園、保育所それぞれの実地に即したテーマを選び、教員養成教育の集大成となる実践力を身につける。	1．化学の基礎知識に関しては、与えられた練習問題や課題に積極的に取り組み、化学の定量計算ができるようになる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識、DP2課題発見・解決力） 2．実験にきちんと出席し、自ら積極的に実験に取り組み、わからないことは実験中に積極的に質問することができる。（DP3リーダーシップ） 3．実験中に現象（マクロの側面）の観察をよく行い、分子の挙動（ミクロの側面）との関連について考察することにより、化学の基礎について深く理解できるようになる。（DP2課題発見・解決力） 4．化学の基礎を理解した上で、化学の基礎的な実験が自分でできるようになる。（DP3リーダーシップ） 5．期日内に実験レポートを提出でき、内容的に化学のレポートとして、論旨が明瞭なものを書くことができる。（DP3リーダーシップ）	1．化学の基礎知識に関しては、与えられた練習問題や課題に取り組み、化学の定量計算が授業資料を見ながら解くことができるようになる。（DP1-2客観性・自律性―専門知識、DP2課題発見・解決力） 2．実験にきちんと出席し、きちんと実験に取り組むことができる。（DP3リーダーシップ） 3．実験中に現象（マクロの側面）の観察をよく行い、分子の挙動（ミクロの側面）との関連について考察することにより、分子のイメージをもてるようになる。（DP2課題発見・解決力） 4．化学の基礎を理解した上で、化学の基礎的な実験が人と相談しながらできるようになる。（DP3リーダーシップ） 5．実験レポート期日内に提出し、それを化学のレポートの形式として適格なものにできる。（DP3リーダーシップ）

科目名称	科目区分	配当年次	単位数	科目概要	到達目標（成績評価A）	単位修得目標（成績評価C）
保育・教育特別演習A	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	保育・教育の場において災害への備え及び安全の確保は、子どもの健やかな生活の基本であり、保育・教育施設全体で取り組むべき課題でもある。安全の確保のための環境や設備、防災への備え、災害発生時の対応・体制、地域連携などについて学ぶ。我が国における自然災害の特徴や発生状況を踏まえ、災害への対応や防災の取り組み方について学ぶ。また、減災に向けた自助・共助・公助の円滑な連携のあり方について学ぶ。さらに学んだことを活かして、小学校における防災教育、防災学習のあり方を検討する。東日本大震災発生時の保育所の避難の様子から、安全確保や災害発生時の対応と地域との連携を学ぶ。また、実際に作成されている安全計画や危機管理マニュアルを検討し、共立大日振幼稚園の園舎や園庭の見学から、同園の「危機管理・安全管理マップ」を作成し、発表する。	1.我が国における自然災害の特徴を理解し、保育・教育施設における安全計画の内容や、防災教育の進め方を総合的に説明できる。（DP1-2 客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育施設における子どもの安全確保、リスクマネジメント、災害発生時に取り組む内容等について、危機管理の視点から総合的に説明できる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育施設における地域性を踏まえた防災教育の進め方を理解し、危機管理マニュアルの活用や地域・社会との連携のあり方を踏まえた今日の課題や解決策を総合的に考察できる。（DP2 課題発見・解決力） 4.保育・教育施設における安全教育、防災教育の内容を踏まえ、保育者・教育者としての危機管理上の役割を自覚し、命を守る使命感と責任感をもって適切な行動ができる。（DP3 リーダーシップ）	1.我が国における自然災害の特徴を理解し、保育・教育施設における安全計画の内容や、防災教育の進め方を理解できる。（DP1-2 客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育施設における子どもの安全確保、リスクマネジメント、災害発生時に取り組む内容等について、説明できる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育施設における地域性を踏まえた防災教育の進め方を理解し、危機管理マニュアルの活用や地域・社会との連携のあり方等を踏まえた今日の課題を考察できる。（DP2 課題発見・解決力） 4.保育・教育施設における安全教育、防災教育の内容を踏まえ、保育者・教育者としての役割を自覚し、命を守る行動ができる。（DP3 リーダーシップ）
保育・教育特別演習B	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	今日、社会福祉法人・学校法人・NPO 法人・株式会社など様々な運営主体が保育・教育施設を経営しており、保育ニーズに対応するための保育・教育施設の制度や仕組みの現状と課題を学ぶ。さらに、学生自らが理想の保育施設を構想し、経営の実案を考え、より良い保育・教育施設の経営とは何かを考える。日本や諸外国の保育・教育の制度の変遷、さらには現状と課題を学ぶ。また、園経営に欠かせない組織マネジメント、リーダーシップ論、人材育成、働きやすい環境づくりといった基礎を学ぶ。保育施設作りに必要な園舎内外の環境についての基本的な事項を学ぶ。また、理想の園作りを実践的に学ぶことで経営の視点から保育の理解を深めるとともに、保育方法・カリキュラムと物理的環境構成の関係性を理解する。	1.保育・教育施設の経営の意義及び目的について総合的に説明できる。（DP1-2 客観性・自律性【専門知識】） 2.日本や諸外国の保育・教育施設の制度や仕組みの現状及びその課題について経営の視点から総合的に説明できる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育の方法及びカリキュラムと物的・空間的環境構成の関係性について経営の視点から総合的に説明できる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 4.保育・教育施設づくりに必要な物的・空間的環境について総合的に理解し、施設づくりを実践的に学ぶことで課題や解決策を考察できる。（DP2 課題発見・解決力） 5.理想の保育・施設づくりの実践を通して、経営的視点から保育・教育者の役割を総合的に自覚し、使命感と責任感をもって適切な行動ができる。（DP3 リーダーシップ）	1.保育・教育施設の経営の意義及び目的について基本的な事項を説明できる。（DP1-2 客観性・自律性【専門知識】） 2.日本や諸外国の保育・教育施設の制度や仕組みの現状及びその課題について経営的視点から基本的な事項を説明できる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 3.保育・教育の方法及びカリキュラムと物的・空間的環境構成の関係性について経営的視点から基本的な事項を説明できる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】） 4.保育・教育施設づくりに必要な物的・空間的環境について基本を理解し、施設づくりを実践的に学ぶことで課題や解決策に取り組める。（DP2 課題発見・解決力） 5.理想の保育・施設づくりの実践を通して、経営的視点から保育・教育者の役割の基本的な事項を自覚し、使命感と責任感をもって行動ができる。（DP3 リーダーシップ）
保育・教育特別演習C	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	今日、多くの保育・教育施設において、異なる文化をもつ子どもや特別なニーズをもつ子どもの増加といった多様化や国際化が進んでいる。子どもたちの多様な背景や状況について理解し、保育・教育施設における子どもへの対応や保護者支援の実践を学ぶ。学びを通して学生が自己の価値観を認識、転換する機会としたい。実践事例を組織したり、現場の先生や当事者の話から、異なる文化を持つ子どもや特別な教育的ニーズをもつ子どもを含めた保育展開について多面的に考える。また、保護者の話を通して、障害のある子どもをもつ親の抱える思いを知ったうえで実践でどのように寄り添い保育を考えていくかを自分なりに検討したうえでグループ間で協議し、理解を深める。子どもの置かれた様々な環境、社会背景に目を向けた上で、子ども達の支援とニーズに注目し、保育者、子ども、保護者との関係構築と支援方法について学ぶ。本講義では、子どもへの性的虐待の予防とケアを中心に、公衆衛生の視点を取り入れながら、具体的な支援技術を身に付ける機会としたい。	1.特別な教育や福祉のニーズを持つ子どもの背景を理解し、その対策や支援方法について、適切に説明することができる。（DP1-2 客観性・自律性【専門知識】） 2.障害を持つ当事者や家族がこの社会で過ごすにあたって抱える思いを想像し寄り添い、自身の当たり前を見直すとともに共感的に適切な支援を実践することができる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】）(DP2 課題発見・解決力)(DP3 リーダーシップ) 3.公衆衛生の視点から子どもへの性的虐待を予防する重要性を理解し、子ども及び組織への支援方法を実践することができる。（DP2 課題発見・解決力)(DP3 リーダーシップ)	1.特別な教育や福祉のニーズを持つ子どもの背景を理解し、その対策や支援方法について、説明することができる。（DP1-2 客観性・自律性【専門知識】） 2.障害を持つ当事者や家族が抱える思いに寄り添い、支援を実践することができる。（DP1-3 客観性・自律性【主体的判断力】）(DP2 課題発見・解決力)(DP3 リーダーシップ) 3.公衆衛生の視点から子どもへの性的虐待を予防する重要性を理解し、子どもへの支援方法を実践することができる。（DP2 課題発見・解決力)(DP3 リーダーシップ)
課題ゼミナール	家政学部 学科専門 教育科目 児童学科	3	2	児童学の各領域の中で、関心のある特定分野を専門的に詳しく研究するとともに、少人数のゼミナールにおいて、各自の興味・関心に基づいたテーマを設定し、論文購読や実践への参加観察、調査、制作などの方法を用いて、レポートあるいは作品をまとめることができる。この授業の学びによって、自己の保育・教育実践を省察するための分析能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力などを身につけることができる。	1. 化学の基礎知識に関しては、与えられた練習問題や課題に積極的に取り組み、化学の定量計算ができるようになる。（DP1-2 客観性・自律性―専門知識、DP2 課題発見・解決力） 2. 実験にきちんと出席し、自ら積極的に実験に取り組み、わからないことは実験中に積極的に質問することができる。（DP3 リーダーシップ） 3. 実験中に現象（マクロの側面）の観察をよく行い、分子の挙動（ミクロの側面）との関連について考察することにより、化学の基礎について深く理解できるようになる。（DP2 課題発見・解決力） 4. 化学の基礎を理解した上で、化学の基礎的な実験が自分でできるようになる。（DP3 リーダーシップ） 5. 期日内に実験レポートを提出でき、内容的に化学のレポートとして、論旨が明瞭なものを書くことができる。（DP3 リーダーシップ）	1. 化学の基礎知識に関しては、与えられた練習問題や課題に取り組み、化学の定量計算が授業資料を見ながら解くことができるようになる。（DP1-2 客観性・自律性―専門知識、DP2 課題発見・解決力） 2. 実験にきちんと出席し、きちんと実験に取り組むことができる。（DP3 リーダーシップ） 3. 実験中に現象（マクロの側面）の観察をよく行い、分子の挙動（ミクロの側面）との関連について考察することにより、分子のイメージをもてるようになる。（DP2 課題発見・解決力） 4. 化学の基礎を理解した上で、化学の基礎的な実験が人と相談しながらできるようになる。（DP3 リーダーシップ） 5. 実験レポート期日内に提出し、それを化学のレポートの形式として適格なものにできる。（DP3 リーダーシップ）
卒業研究	家政学部 学科専門 教育科目 被服学科	4	4	3 年次までの学修・研究の成果を踏まえ、児童学の諸分野における特定の課題を選択、研究計画を立案し、教員の指導のもとに研究を行う。その成果を論文としてまとめ、発表して、課題解決能力やプレゼンテーション能力を養うとともに、保育・教育現場で生じる課題やニーズに対応する方法についての理解を確かなものとし、保育職・教育職の役割と責任についての自覚を持つことを目指す。	1.児童学に関する諸分野から各自が取り組む研究テーマを主体的に設定し、研究計画を遂行する過程を理解することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2.保育・教育実践の現場で研究を行う場合は、研究倫理規程に十分配慮することができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.研究テーマを探究するために、主体的に、先行文献・資料等収集、分析考察精査等を的確に行うことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.分析考察等の結果を最終的に卒業研究の論文としての確に表現し、発表することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）	1.取り組み研究テーマを設定することができる。（DP1-2客観性・自律性【専門知識】） 2. 研究倫理規程について基礎的な事項を理解し、配慮を試みることができる。（DP1-3客観性・自律性【主体的判断力】） 3.研究テーマを探究するために、先行文献・資料収集、分析考察精査等を行うことができる。（DP2課題発見・解決力） 4.分析考察等の結果を論文の形式でまとめ、発表することができる。（DP2課題発見・解決力）（DP3リーダーシップ）